

令和4年度スポーツ産業の成長促進事業 「スポーツオープンイノベーション推進事業 (地域版SOIPの先進事例形成)」

—報告書—

2023年3月31日
パーソルイノベーション株式会社
eiicon company

本報告書は、令和4年度スポーツ庁委託事業として、パーソルイノベーション株式会社（eiicon company）が実施したスポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

主催

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

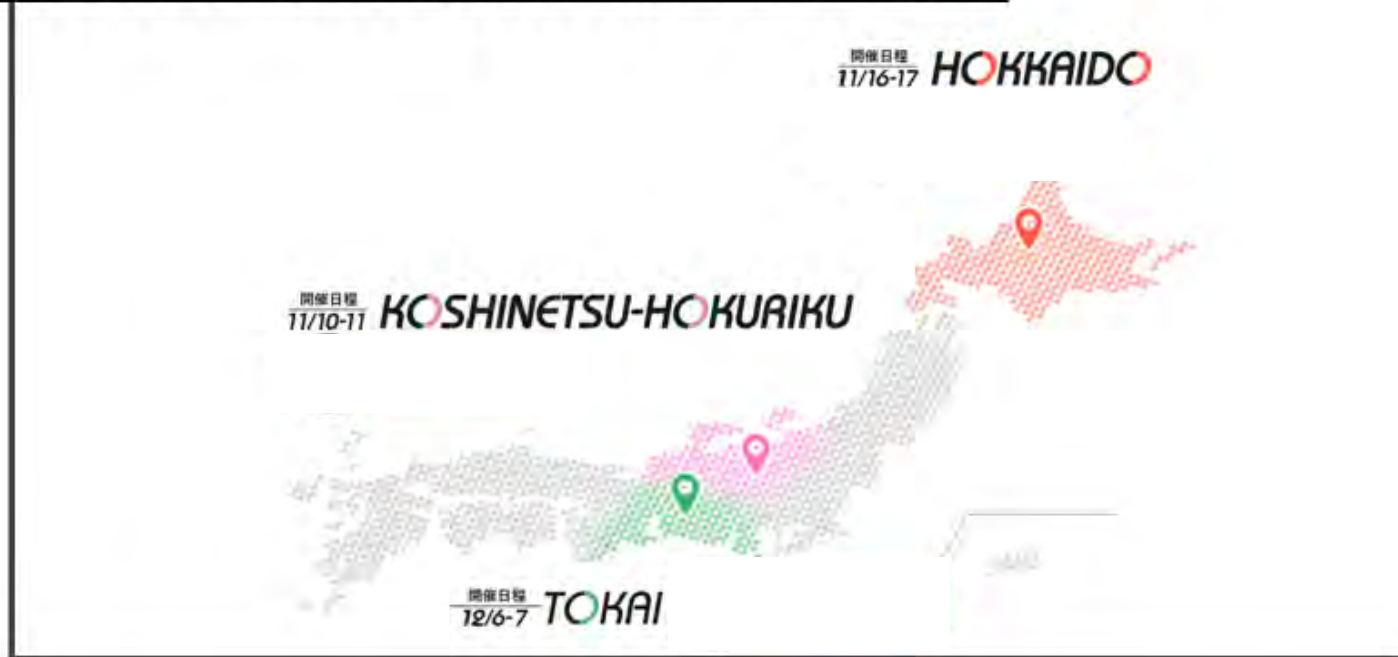


eiicon

事業の全体概要

令和4度は、昨年着火した“スポーツを核とした地域活性化”を根付かせ、全国に波及させるため、全国3箇所でイノベーション創出プロジェクトを実施。スポーツ（地域クラブ）× 他産業（テクノロジー・プロダクト）× 地域企業・自治体での共創を狙ったプログラムを実施する。本プログラムを通じて、『スポーツ×●●』でビジネスを形作り、社会実装をゴールとし、スポーツ産業の未来を創出する。

地場に根差したスポーツクラブやプロスポーツチームを根幹に据え、
地場企業・地場外企業とのコラボレーションを意図的に起こす、
アクセラレーションプログラムを複数展開することで、日本全土を着火



事業の主旨・目的

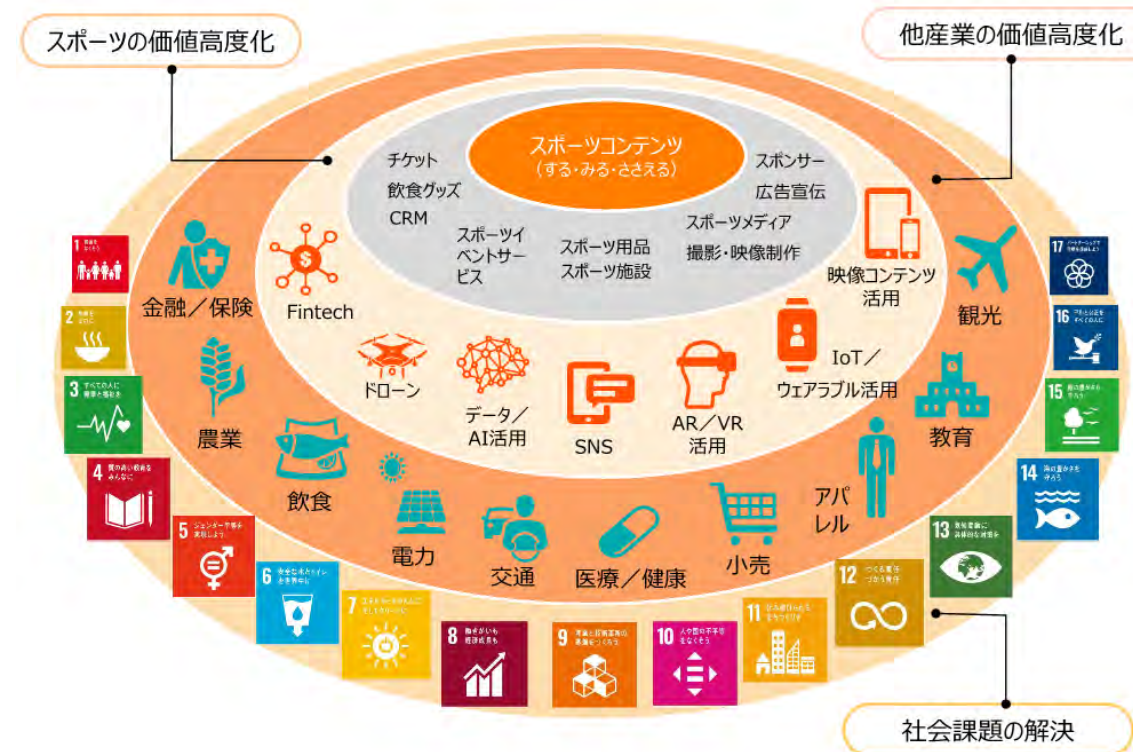
『BUSINESS BUILD（ビジネスビルド）』というeiiconオリジナルのアクセラレーションプログラムスキームを用いて実施。

eiicon・再委託先（地域パートナー）・メンターと共にコンサルティング等の伴走支援、実証に係る費用面を事務局よりサポートすることで、スポーツチーム・団体、スポーツ庁産業のイノベーション創出に向けた活動を支援。

さらに、各地域2日間のイベント型で実施することで、地域のスポーツチーム・団体と全国の企業やメンターが交流し、協力体制を構築しながらプログラム運営を実施。

SOIPについて

スポーツ界のリソースを基に他産業と連携して、
世の中に新たな財やサービスを創出する基盤
(スポーツオープンイノベーションプラットフォーム)



地域版SOIPについて

スポーツを核とした地域活性化

INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022

スポーツとあらゆる産業の共創で、ビジネス創出を目指すアクセラレーションプログラム

事業コンセプト

『スポーツは成長産業だ』

スポーツを核とした地域活性化を目指すべく、昨年より発足し
今年2年目に突入する「SPORTS BUSINESS BUILD」。

日本の地域に点在する、少子高齢化や人口減少、交通インフラなどの課題は、
スポーツが持つ可能性と掛け合わせることで、解決され、価値創造の種となる——。

1年目では、地域に根差した11のスポーツチーム×全国から集まった企業との共創により、
バーチャル、教育、観光、モビリティなど、様々な領域で全12のプロジェクトが生まれ、
スポーツ産業の新たな可能性を提示した。

昨年着火した“スポーツを核とした地域活性化”を根付かせ、全国に波及させるため、
今年は「北海道」「甲信越・北陸」「東海」の3エリアが参画。
地域を支える地場企業と、経験豊富なメンターの強力なサポートのもと、
スポーツ×他産業による新たなビジネスの社会実装を目指す。

地域から日本全土へ、スポーツビジネスに旋風を巻き起こす。

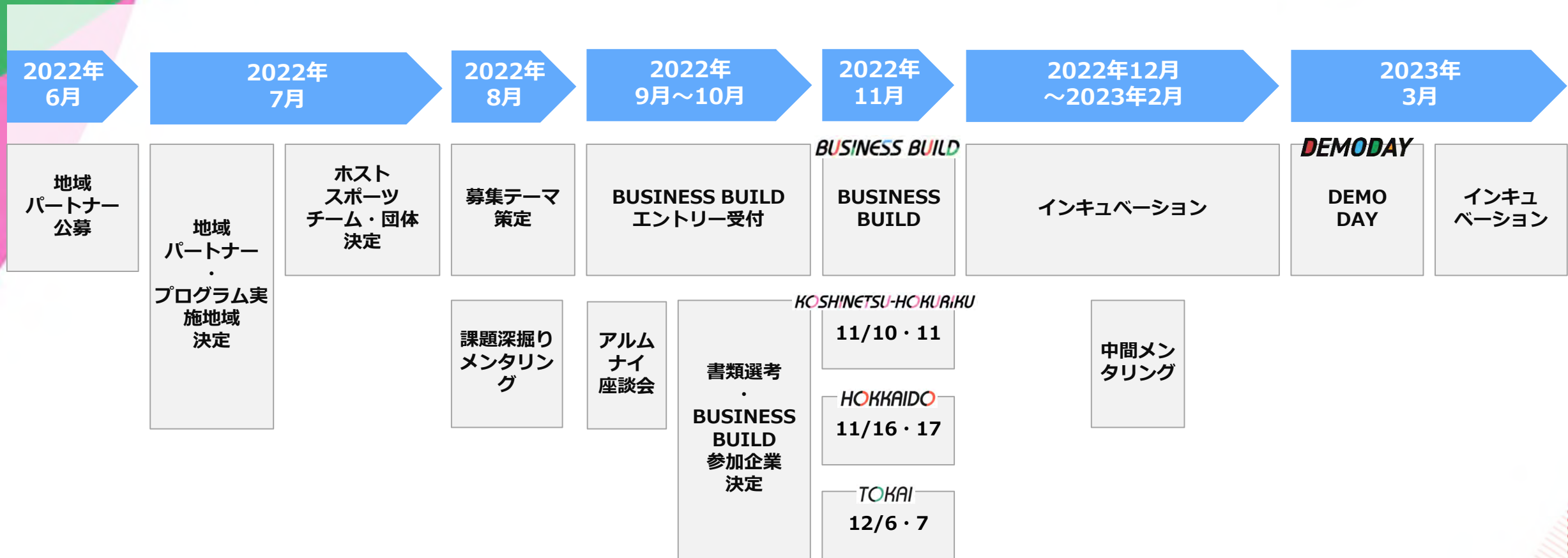
事業コンセプト

スポーツは**成長産業**だ。

Social implementation of the bud of sports innovation

見る者もする者も支える者も、
携わるだけで一丸となることができる、
究極のエンターテインメント

事業スケジュール



<用語説明>

- ・地域パートナー：本事業プログラムの運営・推進を、地域版SOIP構築の先進事例形成を事務局とともに支援し、各地域における基盤整備の中心を担っていく企業/団体
- ・BUSINESS BUILD：2日間でビジネスの骨格を創り上げるアクセラレーションプログラム
- ・アルムナイ：地域版SOIP参加の歴代参加者（地域パートナー・ホストチーム・企業等）が卒業生として引き続き関係やネットワークでつながり協力していく施策
- ・インキュベーション：共創ビジネスアイデアの社会実装へ実証・POCのサポートと伴走支援
- ・DEMO DAY：成果発表会

支援メニュー

イノベーション創出を支援するために、プログラムとして下記のメニューを用意

• MERIT • メリット

MERIT
01



地域での社会実装に向けて、
地場企業を巻き込んだ
強力なバックアップ体制

MERIT
02



各業界/ビジネスに精通した
メンター陣による、
ビジネスメンタリング

MERIT
03



採択されたアイデアには、
事業検証費用をサポート

メンター

イノベーション創出やオープンイノベーションでの事業開発に経験値の少ないホストとなるスポーツチーム・団体、又スポーツ領域での共創経験やリソースの少ないスタートアップに対して、ノウハウや実証時のリソース面での協力をする目的で「メンター」「サポーター」をアサイン。

メンターからはプログラムにおけるマッチング・採択企業の選定、ビジネスモデル構築のアドバイス、実証に向けたインキュベーション期間でのアドバイス等のメンタリングを支援。

サポーター企業からは実証に向けたインキュベーション期間での場所や技術提供、自社サービスとの連携等による、プログラムを通じたマッチングと共創プロジェクトの成功に向けた支援体制を構築。

最終的には25名のメンターと、38社のサポーター企業が本事業に参画。

メンターにはスポーツ領域での知見だけでなく、ヘルスケア・DX・メディア・エンタメ・新規事業開発など、各領域に精通するスペシャリストの方々を弊社の人脈を中心にアサイン。また、地域特性に詳しいメンターも地域パートナー協力でアサイン。

各地域のプログラムに関与していただくことで、それぞれの地域内での人脈・ネットワーク構築にも寄与できるように設計。

メンター

メンター 15名



藤田 豪
株式会社MTG Ventures
代表取締役



平地 大樹
プラスクラス・スポーツ・
インキュベーション株式会社
代表取締役インキュベーター



常盤木 龍治
パラレルキャリアエバンジェリスト
株式会社EBILAB
取締役ファウンダー CTO CSO



菅原 政規
PwCコンサルティング合同会社
ディレクター



深田 昌則
SUNDRED株式会社
エグゼクティブ・バイス・プレジデント
兼CVO/CMO
カーマインワークス合同会社 代表



岸本 拓磨
日本アイ・ビー・エム株式会社
フューチャーデザインラボ
チーフプロデューサー



中馬 和彦
KDDI株式会社
事業創造本部 副本部長
兼 Web3事業推進室長
兼 LX戦略部長



岡 洋
Spiral Innovation Partners
代表パートナー



石塚 大輔
スポーツデータバンク株式会社
代表取締役



藤本 宏樹
住友生命保険相互会社
上席執行役員
兼 新規ビジネス企画部長
兼 SUMISEI INNOVATION FUND 事
業共創責任者



星野 拓
エイベックス・クリエイター・エージェンシ
ー株式会社
エージェンツグループ 兼 ビジネスデザイン
グループ セネラルマネージャー・エイベックス・
マネジメント 株式会社経営戦略企画室 兼 IP
発掘育成本部セネラルプロデューサー



鈴木 順
公益社団法人日本プロサッカーリー
グ (Jリーグ)
社会連携部 部長



長田 新子
渋谷未来デザイン
理事・事務局長
NEW KIDS株式会社 代表



椎葉 圭吾
W incubation
プログラムディレクター



中村 亜由子
eiicon company
代表/founder

メンター

地域メンター 10名

地域メンター（北海道エリア）



大久保 徳彦
株式会社POLAR SHORTCUT
代表取締役 CEO



藤間 恭平
株式会社DRIVE Incubation
代表取締役



福田 拓哉
熊本バスケットボール株式会社
代表取締役社長

地域メンター（東海エリア）



粟生 万琴
株式会社LEO
代表取締役CEO
なごのキャンパス プロデューサー



舟橋 弘晃
中京大学スポーツ科学部
スポーツマネジメント学科
准教授

地域メンター（甲信越・北陸エリア）



西村 祐介
ECHO株式会社 代表取締役
公益財団法人スポーツヒューマンキ
ャピタル
広報・マーケティングディレクター



箱崎 浩大
BIPROGY株式会社
戦略事業推進第二本部 事業推進二部
企業共創プロジェクト1グループグ
ループリーダー



宮澤 幸生
一般社団法人スポーツ・パートナー
シップ・プレイス・ジャパン
事務局長
スポーツ×観光コーディネーター



荒井 雄彦
シソーラス株式会社
代表取締役



高島 靖明
NICOLLAP
コミュニケーションマネージャー
秋田ノーザンハビネッツ 共同創業者

サポーター

サポーター 38社



実証サポート費用

資金面での課題も多いスポーツ産業において、
実証に係る費用の一部をサポートする仕組みも設計。

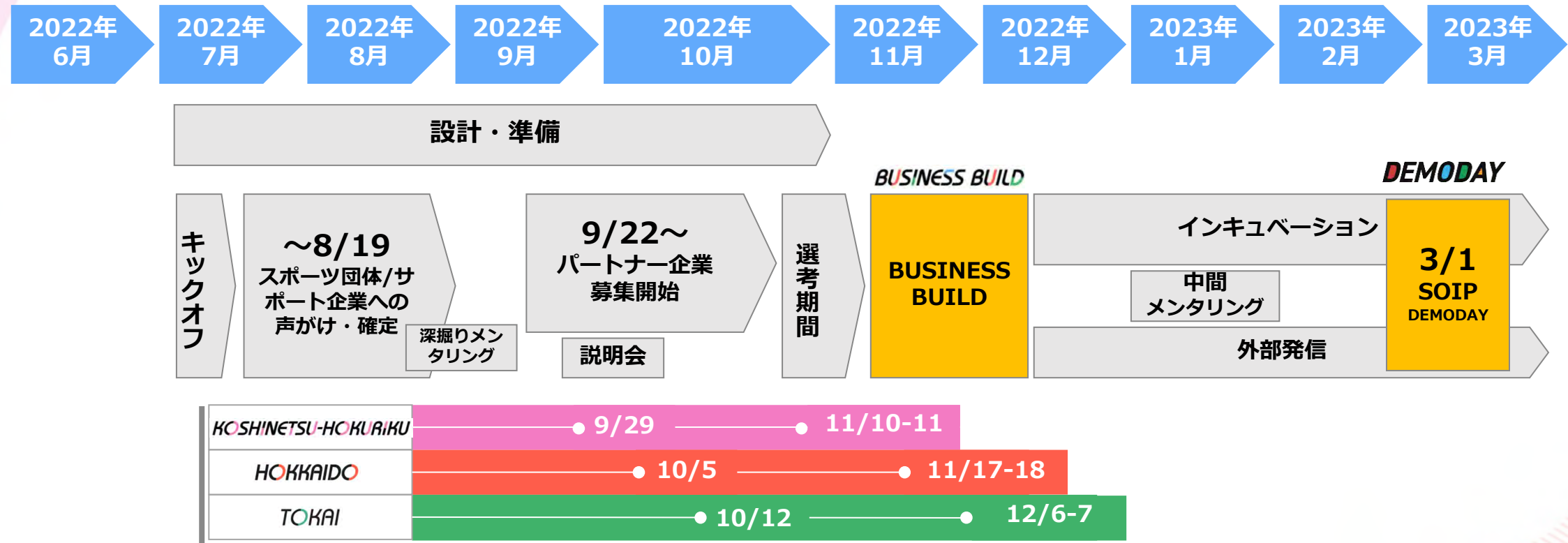
プログラム実施1地域あたり390万円の費用を上限に、BUSINESS BUILDで採択された
共創プロジェクトの実証時に必要なコストに対して補助金として支援を実施。



採択されたアイデアには、
事業検証費用をサポート

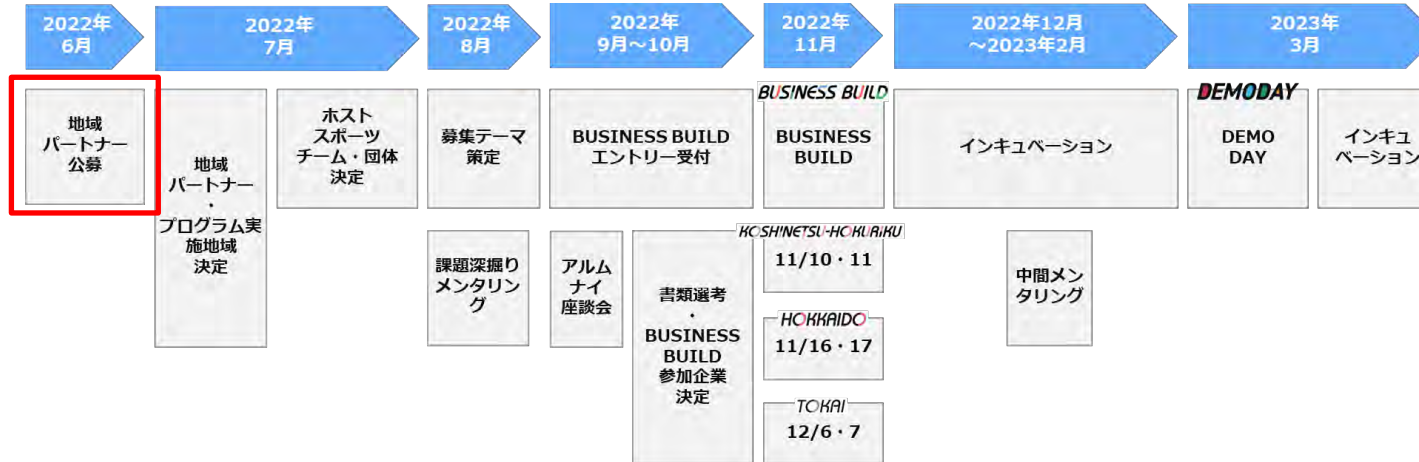
プログラム運営スケジュール

「BUSINESS BUILD」の運営にあたって、下記のスケジュールで事業を運営



2022年11月-12月
BUSINESS BUILD Monthly
※計3回の実施

地域パートナー



地域パートナー

プログラムの運営、及び次年度以降の共創プロジェクトへの継続支援をし、当該地域におけるスポーツオープンイノベーションの促進をしていくべく、再委託先（地域パートナー）と共に事業を運営。

適切な再委託先とプログラム実施地域を選定するために、公募と審査を経て決定。
公募・審査の結果、下記の再委託先（地域パートナー）とプログラム実施地域が決定。

再委託先 (地域パートナー)	プログラム実施 エリア
株式会社北海道二十一世紀総合研究所（SPOPLA北海道）	北海道
一般社団法人長野ITコラボレーションプラットフォーム（NICOLLAP）	甲信越・北陸
株式会社中日新聞社／名古屋商工会議所／中部ニュービジネス協議会	東海

＜参考＞
令和3年度の4運営パートナー
※令和4年度から地域パートナーと名称変更

再委託先（運営パートナー）	エリア
株式会社北海道二十一世紀総合研究所（SPOPLA北海道）	北海道
大阪商工会議所（スポーツハブKANSAI）	関西
伊藤忠ファッションシステム株式会社（スポコラファイブ）	中国
株式会社レジスタ / スポーツデータバンク沖縄株式会社	沖縄

地域パートナー

北海道エリア

株式会社
北海道二十一世紀総合研究所

SPOPLA
HOKKAIDO

経済産業省
北海道経済産業局

甲信越・北陸エリア

NICOLLDP

スポーツビジネス
SPORTS
BIZ

一般社団法人
長野県経営者協会
Nagano Employers' Association

東海エリア

中日新聞社

名古屋商工会議所
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

CNB
中部ニュービジネス協議会

HOKKAIDO

KOSHINETSU-HOKURIKU

TOKAI

地域パートナー

■ 地域パートナー選定の公募

地域パートナーは公平性の観点から公募で選定することとし、第三者機関のメンバーとスポーツ庁とによる審査会で決定。審査員には「地域版SOIPに携わり事業の理解がある方」「新たな視点で評価いただける方」として5名に担ってもらった。

・ 公募（スポーツ庁ホームページ）

スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

検索語句を入力して下さい。 検索 文字サイズ変更 標準 大 English サイトマップ

ホーム スポーツ庁について お知らせ 政策 法令 刊行物

トップ > お知らせ > 公募情報 > 令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」の地域パートナーの公募について

令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」の地域パートナーの公募について

令和4年6月13日

2022年6月29日 質問及び回答を公表しました。
・質問と回答 (135KB)

令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIP（※）の先進事例形成）」（以下、本事業）では、プロスポーツチーム等をイノベーション創出の場とするアクセラレーションプログラムを通じて、先進事例を形成する地域版SOIPの構築を行います。

※SOIP：スポーツの価値が社会に貢献する新たな財・サービスの創出を促進する場や仕組み。スポーツ庁はSOIPを推進することで、スポーツ界と他産業が連携することで新たなサービスが創出される社会の実現を目指します。

本事業におけるアクセラレーションプログラムの運営・推進、地域版SOIP構築の先進事例形成を事務局とともに支援し、各地域における基盤整備の中心を担っていく地域パートナー（以下、地域版SOIP）の公募を開始します。

地域版SOIP 公募事業内容

1. 地域におけるアクセラレーションプログラム実施のための事務局業務
2. 各地域におけるスポーツ団体等とスタートアップ等が連携して新事業の創出又は社会実装を目指すアクセラレーションプログラムにて、プログラムの企画・運営、採択事業の実証又は実装に係る人的支援等を実施
3. 実証の場を提供する役割を担う3程度のプロスポーツチーム等の協力を取り付ける
4. 2022年11月に開催予定のアクセラレーションプログラムの運営、会場の選定・手配
5. スタートアップ等の公募時に、実証の場を提供する役割を担うプロスポーツチーム等の課題抽出（募集テーマの設定）やリソースの整理、採択事業の実証又は実装を実施できる体制構築等のアドバイスを実施
6. 2022年11月～2023年2月の期間で予定しているアクセラレーションプログラム採択事業の実証又は実装に際して、人的支援等を実施（採択事業に対する毎週の定例会議の進行・管理、事業モデルに対するアドバイス、実証への協力企業の紹介など）

・ 公募（プレスリリース）

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES
Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ |

📌

【スポーツ庁 x eiicon company】令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」地域パートナーの公募を開始します！

全国最大3地域でアクセラレーションプログラム「INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD」を開催。新事業の創出・社会実装を目指します！2022年7月4日締切。

eiicon company
🕒 2022年6月13日 11時00分

📍 日本最大級のオープンイノベーションプラットフォームAUBA（アウバ）を運営するeiicon company（所在地：東京都港区南青山、代表：中村 亜由子）は、本日2022年6月13日（月）より、スポーツ庁 令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIP（※）の先進事例形成）」（以下、本事業）にて、全国で最大3地域での開催を予定しているアクセラレーションプログラムの地域パートナー公募を開始することを発表いたします。eiicon companyは、昨年 令和3年度に続き、本事業の運用業務をスポーツ庁より受託。同行とともに、企画・設計・運用からPR戦略まで、本事業ならびに本プログラムの運営全般を強力にサポートしてまいります。

※ SOIP：
スポーツ界と他産業界が連携することで新たなサービスが創出される社会の実現を目指すスポーツ政策。

スポーツ庁 x eiicon
スポーツは成長産業だ。
Social implementation of the bud of sports innovation
2022
令和4年度スポーツ産業の成長促進事業

地域パートナー

■ 地域パートナー選考の第三者委員の審査員メンバーと選考結果

審査員メンバー 5名

- ・平地 大樹 氏（プラスクラス・スポーツ・インキュベーション株式会社 代表取締役インキュベーター）
- ・常盤木 龍治 氏（パラレルキャリアエバンジェリスト、株式会社EBILAB 代表取締役ファウンダーCTO SCO）
- ・中馬 和彦 氏（KDDI株式会社 事業創造本部 副本部長 兼 Web 3 事業推進室長 兼LX戦略部長）
- ・岡 洋 氏（Spiral Innovation Partners 代表パートナー）
- ・黒田 健介 氏（Scrum Ventures Principal）

審査会 審査シート

審査シート		審査結果 集計								
各項目 5 点満点、⑦は10点満点（合計最大45点満点）で評価をお願いします。										
評価項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9
項目/配点		伊藤軍ファッションシ テム	北海道二十一世紀総合研 究所	さいたまスポーツコミ ッション	中日新聞社	大阪商工会議所	ちとせ研究所	ノッティングヒル	長野県コラボレーショ ンプラットフォーム (NICOLLAP)	アド東北
地域		中国・四国	北海道・東北	関東	中部・北陸	近畿	中国・四国	関東	中部・北陸	北海道・東北
①事業との合致性:5点	事業の目的と合致しているか？理解しているか？ （地域版SOPの形成、事前形成が見込めるか） 「スポーツベンチャー」の明確な定義、成長性、地域との関係性	(非公開)								
②ネットワーク:5点	スポーツ団体、協力企業のネットワークを保有しているか？ （スポーツベンチャーの明確な定義、成長性、地域との関係性）									
③課題の明確性:5点	地域やスポーツ団体の特色、解決したい課題が明確か？ （明確な課題、解決策の明確化）									
④実施体制・推進体制:5点	実施体制が確保されており、事業推進の安心感、安定感（推進担当者の人数確保、ノウハウ保有があり、コミニケーションが密である） （推進体制の明確化、推進体制の構築）									
⑤実績・ノウハウ:5点	実績・ノウハウの明確化（具体的な実績、ノウハウの明確化） （実績・ノウハウの明確化）									
⑥持続性・持続性:5点	次年度以降も、地域の中核団体として持続的に地域に貢献できる体制・ノウハウがあるか。また継続する事業計画の明確化、持続性のある事業計画の明確化									
⑦該当地域内の新たな価値創出:10点	該当地域にとって新たな価値創出に繋がっているか？ （該当地域にとって、新しいスポーツオープンイノベーションの創出）									
⑧費用の妥当性:5点	事業の運営に対して妥当な費用が提示されているか？									
合計点:45点										
審査企業1社でも3項目がすべて1点										
採択/不採択										
順位										
採択 (○)										
保留 (△)										
落選 (×)										

地域パートナー 効果を高める工夫と改善

■地域パートナーの役割強化と工夫

令和4年度は、地域パートナーに各地域でのSOIP事業を担えるプレイヤーとなる自覚と責任と実行力をつけてもらう事や社会実装の質を高める事を目的として、役割の強化をした。

- ・「定例情報交換会」で積極的で活発な意見交換のため工夫として「会の進行担当制」
- ・他地域DEMODEAYへの見学参加の推奨
- ・各共創の実証インキュベーション期における積極的サポート促進と「1PJ1担当」推奨
- ・地域主催デモデイの開催強化
- ・情報発信、プロモーションの強化
- ・次年度以降のSOIP事業の自走化への検討促進

など

結果、3つの地域パートナー間での意見交換やのノウハウ共有が活発となり、相互の協力や参考や刺激しあうことができた。共創の実証から社会実装へむけた事業プランや計画の質が高まり、次年度以降の自走に向けた共通の課題認識や協力関係を築くことにつながっている。

令和4年度 強化・工夫

地域パートナー「定例情報交換会」

地域パートナー同士の、プログラムの運営に関わる連絡事項、各地域間の事例・ナレッジの共有や交流を促進。スポーツ庁・再委託先（地域パートナー）と共に、下記の日程で定例情報交換会を実施。

令和4年度は、地域パートナーが主体となり積極的な意見交換ができるように強化した。会議ファシリテートを地域パートナー交代制で実施。活発な意見が交わされた。

定例情報交換会 実施日程		ファシリテート 担当
合同キックオフ	令和4年7月15日	事務局
第1回	令和4年8月10日	事務局
第2回	令和4年9月14日	北海道 地域パートナー
第3回	令和4年10月12日	甲信越・北陸 地域パートナー
第4回	令和4年12月14日	東海 地域パートナー
第5回	令和5年1月18日	北海道 地域パートナー
第6回	令和5年2月15日	甲信越・北陸 地域パートナー
第7回	令和5年3月15日	東海 地域パートナー

※合同キックオフミーティングは、メンター・サポーター企業の関係者も含めた会議体として実施。

※令和4年11月はBUSINESS BUILD開催月につき定例情報交換会の実施はなし。



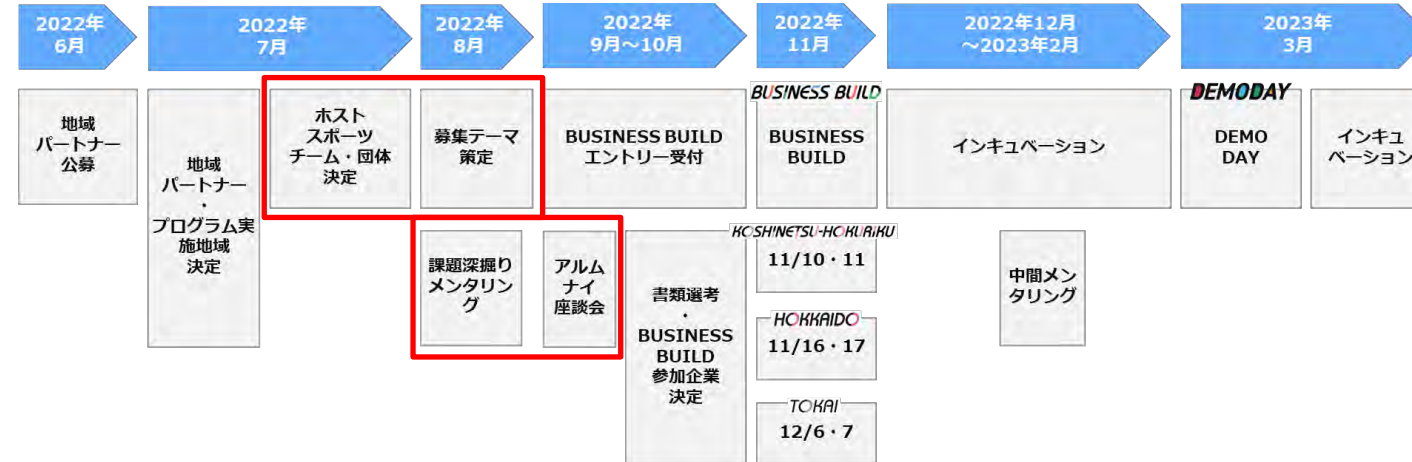
今後の改善点

地域パートナー 今後の改善点

■ 地域パートナーに関する今後の改善点

- **全国的にSOIPを浸透、普及させていくこと（地域パートナーの全国浸透）**
2年間で全国6エリア（北海道、甲信越・北陸、東海、関西、中国四国、沖縄）での実施となったが、東北と九州ではまだである。都道府県では（北海道、長野、愛知、大阪、広島、沖縄）とまだ広がり浸透はこれからである。2年間でその土台ができてきている。
- **「地域パートナー」が独自でSOIPの推進・運営を自走していけること**
目指す地域スポーツ産業の活性化のために、地域パートナーが継続的にSOIPを担っていくことができることが重要となる。現状では、まだ自走モデルの確立には至っていない。必要なネットワーク、ノウハウ、運営資金やマネタイズ、そして地域SOIPへの情熱をいかにして多様なモデルとして確立と浸透させていくか。地域版SOIPにかかわった歴代「地域パートナー」の存在は貴重であり継続的な連携は重要となる。
- **各地域でSOIPを担う「地域パートナー」同士の横の連携・協力が活発にされていくこと**
地域パートナー間での情報交換やノウハウ共有が進むことが、スポーツ×他産業による新しい事業創出、そしてスポーツチーム自身の経営、新しい収益構造、地域との深いつながり、ファン拡大などを生み出していく一つの原動力となる。

ホスト企業



ホスト企業

再委託先（地域パートナー）と連携しながら、プログラム実施地域に根差すスポーツチーム・団体を対象に、プログラムを通じて全国のスタートアップ・事業会社とのオープンイノベーション・共創で新規事業創出、新たな価値創出を実施する主体者として参画する「ホスト」を選出。

最終的に、今年度プログラムでは計10のスポーツチーム・団体がホストとして参画。

北海道エリア



エスポラーダ北海道



北海道コンサドーレ札幌



ヴォレアス北海道

甲信越・北陸エリア



長野県スキー連盟



信州ブレイブウォリアーズ



松本山雅FC

東海エリア



名古屋グランパス



名古屋ダイヤモンドドルフィンズ



ウルフドッグス名古屋
豊田合成記念体育館エントリオ
(TG SPORTS/豊田合成)



名古屋ウィメンズマラソン
(中日新聞社スポーツ事業部)

ホスト企業

HOKKAIDO

ホストと募集テーマ

THEME 01



エスポラーダ北海道

Futsal

フットサル・チームの魅力を
“引き出し”“広げる”
新たなコミュニケーションの創出



THEME 02



北海道コンサドーレ札幌

Football

チームとファンの新たな繋がりで、
次世代の北海道を盛り上げる



THEME 03



ヴォレアス北海道

Volleyball

地域とチームの魅力を引き出す。
ファンによるファン活性のための
仕組みづくり。



ホスト企業

KOSHINETSU-HOKURIKU ホストと募集テーマ

THEME 01

SAN
(公財) 長野県スキー連盟

公益財団法人 長野県スキー連盟

ski / snowboard

雪山の楽しさを感じながら、
スキルアップを楽しみたい人を
対象にスキー・スノーボード
人口増を目指す事業



THEME 02

SHINSHU BRAVE WARRIORS

信州ブレイブウォリアーズ

Basketball

プロバスケットを日常に浸透させ
「長野県（信州）全域」を健幸へ



THEME 03

YAMAGATA GREEN SPIRITS

松本山雅FC

Football

地域に根差し
地域と共に成長し続ける
サッカークラブを目指す



ホスト企業

TOKAI

ホストと募集テーマ

THEME 01

名古屋グランパス

Football



世代を超えて地域一人一人との繋がり
グランパスにしかできない
街づくりを



THEME 02

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ

Basketball



都心の共創空間から
まちづくりとファンづくり



THEME 03

ウルフドッグス名古屋
豊田合成記念体育館エントリオ
(TG SPORTS/豊田合成)

Volleyball



民設民営アリーナを活用した
ファンの拡大



THEME 04

名古屋ウィメンズマラソン

(中日新聞社スポーツ事業部)

marathon



世界最大の女子マラソン
新たなエンゲージメント拡大



ホスト企業 効果を高める工夫や改善

■ホスト企業のSOIP理解、テーマ設定の質を高める工夫・改善

令和4年度は、ホスト企業のSOIP参加での成果を高めてもらうために、自社のスポーツチームが抱えている本質課題や解決したいポイント、地域の課題や接点の形など把握をしてもらう工夫として下記を行った。

- ・ホスト企業の課題整理における「深掘りメンタリング」の実施
- ・「アルムナイ座談会」の実施によるSOIP理解への工夫
- ・事務局の地域担当PMと地域パートナーとの間の連携や協力の改善・強化

など

結果、ホストチームが当初認識していた課題やテーマや方向性にとどまらない新しい視点や気づきを得てもらうことにつながり、よい企業募集内容への整理ができた。限られた時間の制約条件の中で、本質的な課題整理や質の高いテーマ設定とする工夫は重要である。

令和4年度
強化・工夫

ホスト企業 課題深掘りメンタリング

■ホスト企業の課題整理&深掘りメンタリングの実施

●ホスト企業課題整理

ホスト企業へプログラムを通じて解決したい事業課題や地域課題をヒアリングし、課題の抽出～最適な表現への言語化・自社リソース整理などコンサルティングを実施。整理した内容から、募集テーマへの落とし込む。弊社の豊富なアクセラレーションプログラム支援経験を活かして実施。

●深掘りメンタリングの実施（導入）

ホスト企業の本質課題の深掘りや新しい気づきを得るために、外部メンターによるホストの課題深掘りを実施。スポーツ業界に精通した有識者による客観的視点やアドバイスをもらう事により、より本質的な課題や実効的なテーマ設定につなげる設計。

深掘りメンタリングスケジュール

7月19－22日	ホストチーム 課題ヒアリング&課題整理		
7月25－26日	外部メンター 課題インプット		
8月1－10日	外部メンターによる 課題深掘りメンタリ ング	<北海道>	エスポラーダ北海道 (8/2 メンター：石塚氏) 北海道コンサドーレ札幌 (8/2 メンター：石塚氏) ヴォレアス北海道 (8/5 メンター：石塚氏)
		<甲信越・北陸>	長野スキー連盟 (8/4 メンター：石塚氏) 松本山雅FC (8/5 メンター：石塚氏) 信州ブレイブウォリアーズ (8/10 メンター：石塚氏)
		<東海>	名古屋グランパス (8/3 メンター：藤田氏) 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ (8/4 メンター：藤田氏) 中日新聞スポーツ部ウィメン巢マラソン (8/9 メンター：藤田氏) 名古屋ウルフドックス／豊田合成エントリオ (8/9 メンター：石塚氏)

令和4年度 強化・工夫

ホスト企業 アルムナイ座談会

■昨年度「地域版SOIP」参加ホストチームから、今年度参加ホストチームへの経験共有

ホストスポーツチームに本プログラムへの具体的イメージを持ってもらいこと、昨年度の経験を参考に活動をより良いものにしていただくこと、そして、年度を超えたスポーツチーム同士のつながりをつくることを目的に、アルムナイ座談会を実施。

ゲストに、昨年度参加チームのレッドイーグルス北海道と、レバンガ北海道をお招きし、パネルディスカッション形式で実施。昨年度のうまくいったポイント、苦労した点などざっくばらんに話していただいた。



ゲスト：レッドイーグルス北海道



ゲスト：レバンガ北海道

今後の改善点

ホスト企業 今後への改善点

■ホスト企業（スポーツチーム等）に関する今後の改善点

ホスト企業には、下記をおさえた参加への意識や整理をして、社会実装への質を高めていく。

• 自社の課題への本質的な整理の準備

共創によるビジョン策定やビジネスモデル構築には、本質的課題の整理が基礎となるが、なかなかその整理はできずでの参加ケースがある。本プログラムで見定めることでもあるが、その認識や姿勢を持ってもらい、事務局のサポートでの深堀と整理に限りはない。

• 社内コンセンサスの確認

共創での事業創出や価値創造は、チーム運営や経営との連動や理解が重要である。プログラム参加段階でできるだけ社内コンセンサス（経営、現場、その他）をとっていただき、そのサポートは地域パートナーが軸となるが、事務局も共通認識した連携は重要である。

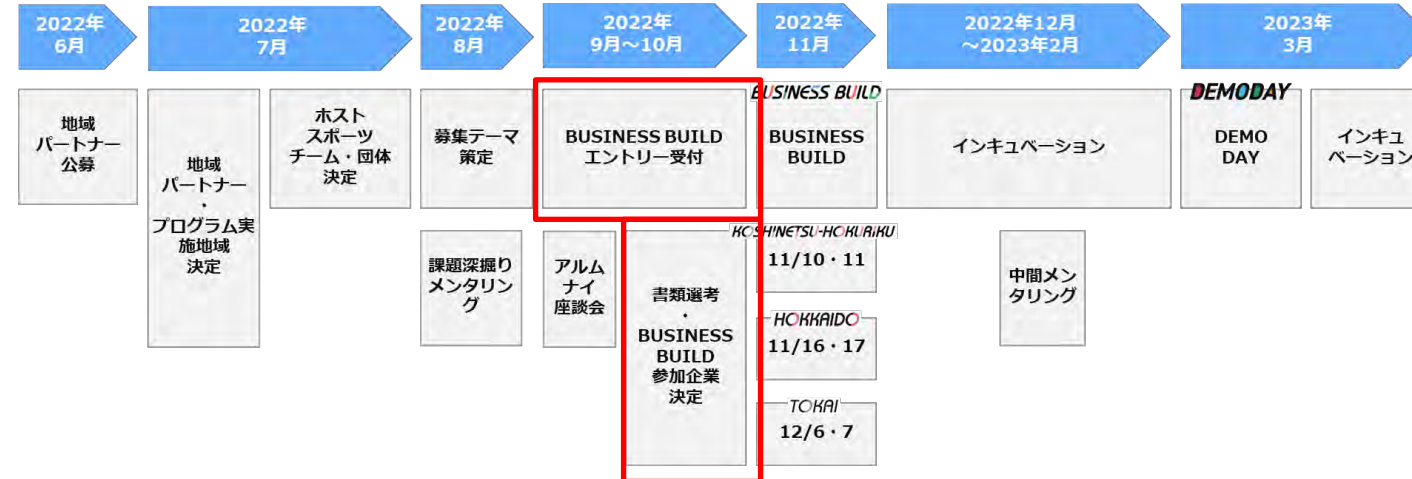
• 社内の協力メンバー、体制整備

プログラム推進には社内外関係者が絡むため、社内協力メンバーはできるだけ構築してもらう。スタートアップではリソース制約もあるが、体制が弱いと事業が止まってしまう。

• SOIP・共創の理解を高めていくこと

そもそも共創・オープンイノベーションについての理解をして参加してもらう。

プログラム公募



プログラム公募

本事業の周知とプログラム参加企業の募集を目的として、各種プロモーションを実施。

ホストとの共創・オープンイノベーションによる新規事業開発・新たな価値創出を希望す企業を募るべく、国内最大級のオープンイノベーションプラットフォーム『AUBA』・メディア『TOMORUBA』を活用した告知を実施。更にはSNSやWEB広告による拡散も実施し、全国から公募を実施。

AUBAやTOMORUBAに登録している2万人以上のユーザー、FacebookやTwitterアカウントのフォロワーなど、オープンイノベーションや新規事業開発に関心のある事業会社・スタートアップ・自治体の方々に情報を届けるようにプロモーションを展開。

また、オンライン説明会の開催、再委託先（地域パートナー）からの告知も実施し、オンライン・オフラインを問わず全国に周知させるように様々な施策を講じて展開。

結果、説明会には総数143名、プログラムには総数240件 / 118社がエントリー。

■プロモーションを実施内容

- ①告知用WEBページの制作
- ②プレスリリース配信
- ③インタビュー記事
- ④AUBA登録企業からのソーシング
- ⑤各種SNSでの配信・WEB広告の運用
- ⑥オンライン説明会の開催・レポート記事の公開

＜参考＞ 令和3年度

説明会：総数424名
プログラム：総数284件
エントリー201社

※令和3年度は1エリア
多い4エリア実施。

プログラム公募

■ 告知用WEBページの公開

本事業の認知拡大とプログラムの内容、各ホストが求める募集テーマの内容を周知させ、プログラム参加企業の集客をするための専用WEBページ（ランディングページ）を制作。（事業全体用と各地域用で、計4枚のランディングページを制作）制作したページはオリジナルでのデザインやコンセプトの企画はもちろんのこと、前述の「募集テーマの設定」と同様、これまでのオープンイノベーション支援のノウハウを活用しながら、共創パートナーとなるスタートアップや事業会社に「どんな情報を、どのような表現で、どの順番で伝えるべきか？」をコンサルティングしながら企画して展開。



（全体TOP）



（北海道エリアTOP）



（甲信越・北陸エリアTOP）



（東海エリアTOP）

プログラム公募

■プレスリリース配信

プログラムの公募開始のタイミングでプレスリリースを弊社から配信。
スポーツ庁、事務局や運営パートナーのメディアリレーションも活用しながら周知を実施。

PRTIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

【スポーツ庁 × eiicon company】『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』全国3地域・10チーム/団体が、パートナー企業を募集開始！

スポーツとあらゆる産業の共創で、ビジネス創出を目指すアクセラレーションプログラムの2ndステージが開幕！2022年9月22日（木）より北海道、甲信越・北陸、東海にて。

eiicon company
2022年9月22日 11時00分

日本最大級のオープンイノベーションプラットフォームAUBA（アウバ）を運営するeiicon company（所在地：東京都港区南青山、代表：中村 亜由子）は、2022年9月22日（木）、スポーツ庁より運用業務を受託している 令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIP（※）の先進事例形成）」（以下、本事業）において、スポーツチームとのアクセラレーションプログラム『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022（イノベーションリーグ スポーツ ビジネスビルド 2022）』に参加する全国3地域10のスポーツチーム/団体と募集テーマを発表。ともにスポーツ産業の新たな未来をつくるパートナー企業の募集を開始いたしました。

**INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022**
スポーツとあらゆる産業の共創で、ビジネス創出を目指すプログラム

— 2ndステージ開幕！ —
スポーツの力で地域の可能性を拓ける。

北海道 10/14 (Fri) | 甲信越・北陸 10/21 (Fri) | 東海 10/30 (Sun)

【スポーツ庁 × eiicon company】『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』

eiicon companyは、昨年 令和3年度に続き、本事業の運用業務をスポーツ庁より受託。同庁とともに、企画・設計・運用からPR戦略まで、本事業ならびに本プログラムの運営全般を強力にサポートしてまいります。
※ SOIP：スポーツ界と他産業界が連携することで新たなサービスが創出される社会の実現を目指すスポーツ政策。

※開催地域と、参加スポーツチーム/団体

北海道エリア:エスボラータ北海道、北海道コンサドーレ札幌、ヴォレアス北海道
甲信越・北陸エリア:長野県スキー連盟、信州ブレイブウォリアーズ、松本山雅FC
東海エリア:名古屋グランパス、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、ウルフドッグス名古屋、豊田合成記念体育館
エントリオ、名古屋ウィメンズマラソン

■「INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022（以下、本プログラム）」について

<https://eiicon.net/about/innovation-league-sportsbb2022/>

□コンセプト ～スポーツは成長産業だ。～

スポーツを核とした地域活性化を目指すべく、昨年より発足し、ことし2年目に入する「SPORTS BUSINESS BUILD」。日本の地域に点在する、少子高齢化や人口減少、交通インフラなどの課題は、スポーツが持つ可能性と掛け合わせることで、解決され、価値創造の種となる——。1年目は、地域に根差した11のスポーツチーム×全国から集まった企業との共創により、バーチャル、教育、観光、モビリティなど、様々な領域で全12のプロジェクトが生まれ、スポーツ産業の新たな可能性を提示した。

昨年着火した“スポーツを核とした地域活性化”を根付かせ、全国に波及させるため、今年は「北海道」「甲信越・北陸」「東海」の3エリアが参画。地域を支える地場企業と、経験豊富なメンターの強力なサポートのもと、スポーツ×他産業による新たなビジネスの社会実装を目指す。地域から日本全土へ、スポーツビジネスに旋風を巻き起こす。

□本プログラムの参加メリット

- ・地域での社会実装に向けて、地場企業を巻き込んだ強力なバックアップ体制
- ・各業界/ビジネスに精通したメンター陣による、ビジネスメンタリング
- ・採択されたアイデアには、事業検証費用をサポート

プログラム公募

■インタビュー記事によるプログラム理解促進

プログラムの認知拡大による応募企業数の増加や、地域課題や募集テーマの詳細を認識いただくことによる応募内容の質の向上にも寄与できるように、取材内容を企画・設計し、インタビューを編集してWEB記事としてTOMORUBA上に公開。地域パートナーによる地域の特色や地域課題の情報発信、ホストによる自社紹介や課題の背景も含めた募集テーマに関する情報発信を目的として、インタビューを実施。

・昨年度の地域パートナーインタビュー



地域版SOIP2022始動！地域スポーツ×産業が秘める可能性とは——スポーツ庁・昨年度運営パートナー会談

2022年07月19日 共創プログラム・地域 インタビュー
ツイート シェアする 15

目次

- 「地域ごとに特色のある取り組みになった」——スポーツ庁・堀成氏
- 4エリア運営パートナーに聞く、地域版SOIPへの参画理由と期待
- 「ノウハウの獲得」「姿勢の変化」「注目の集まり」「官民連携の集結」——地域版SOIPの成果
- 「スポーツチーム×企業で地域課題の解決を目指す」——新たに見えてきた可能性
- 「スポーツが持つ価値を再認識し、一緒にスポーツを盛り上げていける場へ」——スポーツ庁・堀成氏
- 取材後記

2022年度「地域版SOIP」が、いよいよ開幕する——「SOIP（Sports Open Innovation Platform）」とは、ス

・昨年度プロジェクトインタビュー



地域連携とデータ活用がスポーツビジネスを加速させる。ガンバ大阪・レッドイーグルス北海道が挑んだ共創プロジェクトに迫る

2022年09月06日 共創プログラム・地域 インタビュー
ツイート シェアする 25

目次

- 「ガンバ大阪×QnStreet」ガンバサイクルによる地域貢献・SDGs貢献
- 自治体とも連携し、2度の「シェアサイクル」実証をパナソニックスタジアムで実現
- スポーツチーム×シェアサイクルを軸に、スポンサーや地域と連携を強化できる仕組みづくりを
- 「レッドイーグルス北海道×Tosawa Co.,Ltd」北海道地域ヘルスケアシニアへ
- アプリを使ったファン向けウォーキングイベントと、ウェアラブル端末による選手のバイタルデータ可視化を実現
- 「自分たちだけでは実現しないことが、実現できつつある。」両者が感じる共創の醍醐味
- 取材後記

・全国版SOIPとの連携インタビュー



スポーツオープンイノベーションの今と未来——スポーツ市場の裾野を広げる2つの「SOIP」に迫る

2022年09月22日 共創プログラム・地域 インタビュー
ツイート シェアする 15

目次

- 「全国版」「地域版」の両輪設計で描く、スポーツオープンイノベーションのXX
- 自由視点映像、リアルタイム音声配信、汗中乳数値測定——「全国版」夏の赤道事例
- 高齢者観戦サービス、浸透サブスククラブ、学生選手のコンディショニング管理——「地域版」冬の赤道事例
- 「全国版」「地域版」ともに今年度も開催、共創パートナーを募集
- 取材後記

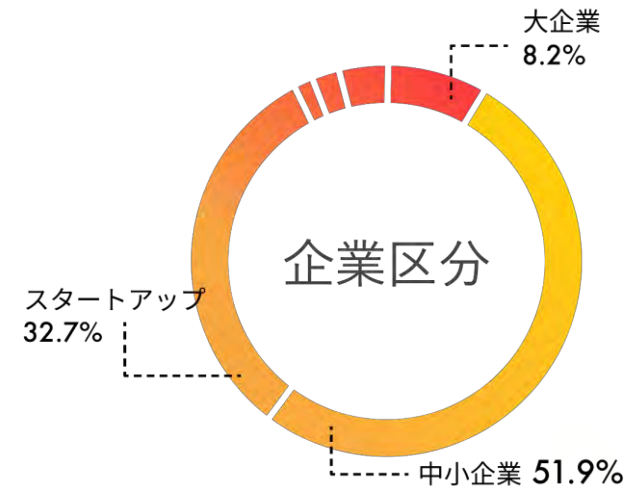
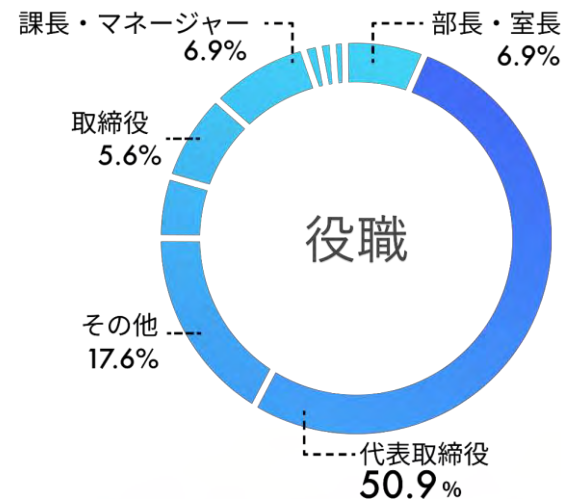
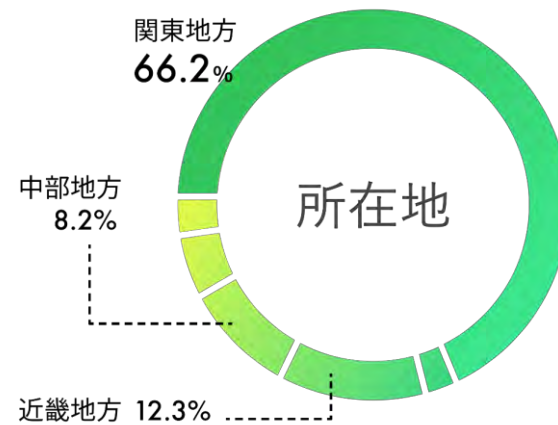
スポーツ分野と他産業の融合により、新規事業の創出と社会課題の解決を図る、Sports Open Innovation Platform、通称「SOIP」。スポーツオープンイノベーション推進事業の一環としてスポーツ庁が取り組む「SOIP」では、昨年度より新たに「地域版SOIP」が発足し、現在、「全国版SOIP」（INNOVATION LEAGUE）と「地域版

プログラム公募

■企業ソーシング：AUBA登録企業からのソーシング

26,000社以上（※プログラム公募当時）の法人登録がある「AUBA」のデータベースの中から、募集テーマにマッチする企業をリストアップし、プログラムへのエントリーを促す個別アプローチを実施。

「AUBA」登録企業属性



プログラム公募

■ 各種SNSでの配信、WEB広告の運用

本事業専用Facebookアカウント（昨年作成、継続運用）にて、断続的な情報発信を実施。持ち回り制で地域パートナーからの発信も行い、事業の認知拡大と理解促進、プログラム応募企業の集客に活用した。
また、AUBAとTOMORUBAのFacebookやTwitterアカウントのフォロワーへの情報発信、各種SNSやWEB上での広告運用も実施し、全国のビジネスユーザーに対して訴求。

Facebook投稿



Twitter広告



プログラム公募

■インタビュー記事、オンライン説明会によるスポーツチーム課題の理解促進

北海道、甲信越・北陸、東海の地域別に、地域パートナーとホストチームへインタビュー取材を実施。LPには記載しきれなかった、募集テーマ設定の背景や意図、地域の特色などを、掘り下げて記事として紹介。

加えて、オンラインにて説明会も開催。地域パートナーによる地域の特色や地域課題の情報発信、ホストによる自社紹介や課題の背景も含めた募集テーマに関する情報発信・参加者との質疑応答、ゲスト登壇者によるパネルディスカッションを通じた提案のヒントになる情報提供を目的としてコンテンツを設計し、企画・運営を実施。説明会の内容をアーカイブ動画として公開し、当日の参加者のみならず広く説明会の内容を周知できるようにプロモーションを行った。

インタビュー記事

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022
HC SHINETSU-HC KURAKU

10/14

「スポーツ × 他産業」で
新たなビジネスの創出を目指す

雪山 × 楽しい バスケット × 健康 × 観光 サッカー × 地域課題

NICOLLAP 金野 謙一 代表 佐藤 博之 代表 佐藤 博之 代表 佐藤 博之 代表

【地域版SOIPに迫る<甲信越・北陸編>】冬季五輪開催地として有名な「長野」からはスキー・スノーボード、バスケットボール、サッカーが参戦！各チームが語る共創への想いとは？

2022年10月14日 10:00 公開

目次

- スポーツが地域に根付くエリアで、新たなビジネスの創出を目指す
- 「スキーやスノーボードをはじめ、雪山をもっと楽しむ体験を提供する」— 金野謙一代表
- 「健康、食、観光—バスケットボールを通じて健康をもっと気軽に—佐藤博之代表
- 「リーグ統一のファンエンゲージメントを高め、さらに地域貢献を進める」— 佐藤博之代表

取材後記

(甲信越・北陸エリア)

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022
HC KHAIDO

10/21

全道民を巻き込み、
「スポーツ × 他産業」で
新たなファンとつながる仕掛けづくり

SPOPIA北海道 佐々木 浩二 代表 佐々木 浩二 代表 佐々木 浩二 代表

【地域版SOIPに迫る<北海道編>】2年目の開催となる「北海道」からはフットサル、サッカー、バレーボールが参戦！共創に取り組む背景・狙いをキーマンたちに聞く

2022年10月21日 10:00 公開

目次

- 「各チームが長年培ってきた課題の解決に、外部からの力添えを期待」— SPOPIA北海道
- 「フットサルの「見る」魅力を高め、エンターテインメントの分野として確立させたい」— 佐々木浩二代表
- 「北海道を元気にする「運動する」アイデアも数個」— 北海道コンサード札幌
- 「Web3.0の活用を各チームパートナーと一緒に進めさせていきたい」— ヴェルデス北海道

取材後記

(北海道エリア)

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022
TOHOKU

10/30

「SOIPの可能性を
広げるのは私たちが」
共創先進エリア東海の挑戦

中目黒新聞 佐々木 浩二 代表 佐々木 浩二 代表 佐々木 浩二 代表

【地域版SOIPに迫る<東海編>】2026年アジア大会を控える「東海」からはサッカー・バスケットボール・バレーボール・マラソンの4競技が参戦！共創に取り組む背景・狙いをキーマンたちに聞く

2022年10月30日 10:00 公開

目次

- 「2022年も、東海エリアの「SOIP」構築元年に」— 中目黒新聞
- 「世代を超えて地域一人ひとりがリソースにしかできない強みを引き出す」— 佐々木浩二代表
- 「地域の共創空間からまちづくりをスタート」— 高野ダイアモンド
- 「施設運営者アワードを活用したファンとの拡大」— ウルブドッグス名古屋
- 「世界最大の女子マラソン、新たなエンゲージメント拡大」— 名古屋ウィメンズマラソン

取材後記

(東海エリア)

オンライン説明会の模様

活動内容

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022
KOSHINETSU-HC KURAKU

NAGANO-OIC2021
DemoDay
2021年度成果発表プレゼン

2022.3.24 Thu.
16:00-18:00

『NAGANO-OIC 2021』
関東経済産業局、長野県、八十二銀行
長野県内事業者との共創プロジェクト 3社(2021年度)

『地域共創ラボ2022』
〜ひと×組織×事業の変革実践プログラム〜
新規事業創出に向けての伴走支援 11社(2022年度)

オンライン説明会アンケート 回答まとめ

Q：本イベントへのご意見・ご感想、ご質問があればご記載ください

各チーム様の目指すところを伺え良い機会となりました。プラン設計しエントリー前向きに検討させていただきます。

スポーツツーリズムにつながるアイデアを伺うことができました。

貴重な機会をいただきありがとうございます。各団体の実現したい内容と弊社ソリューションが合致しないと判断し、今回はエントリーを見送らせていただきますが、また別の形で参加ができればと存じます。募集テーマが3つほど提示されていますが、各団体における優先順位を事前に公表していただければ、視聴者の理解が深まりやすいと感じました。

どのチームも北海道という地元を大事にしている印象を持ちました。弊社はIT×スポーツで地域を盛り上げる事業をしております。ぜひ今回のプログラムに参加したいと感じました。

実績踏まえた各チーム様の熱量について理解を深めることができました。各チーム様向けの提案内容詰めてご提案出来ればと思います。ありがとうございました。

初めて参加させて頂きましたが、とても興味深い内容でした。確認ですが、応募について、提案資料の規制など何かありますでしょうか？例えばパワーポイントで〇〇枚以内とか・・・

01 名古屋グランパス様の課題設定に関する感想です

今まで若年層ファン獲得施策に重点を置き継続実施され、成功されていると感じました。Jリーグ観戦者調査データを拝見すると、60代観戦者の割合が他チームに比べ少ないと読み取れました。他チームと異なる課題ですね。

全体への質問です。今更の様な感じはしますが、実に基本的な事で恐縮です。そもそも、事業規模はどの程度を想定していて、利益が出るまでの時期を何月・何年程度のスケジュール感でしょうか。

プログラム公募

■ 結果、説明会には総数143名、プログラムには総数240件 / 118社がエントリー

■ 公募結果（甲信越・北陸）※募集期間：令和4年9月22日～10月14日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業		
32名	59件 / 48社	●公益財団法人長野県スキー連盟（2社）	富士通株式会社	株式会社日本旅行
		●信州ブレイブウォリアーズ（2社）	株式会社ウェルナス	一般社団法人ローカルカラー
		●松本山雅FC（2社）	株式会社DATAFLUCT	アスエネ株式会社

■ 公募結果（北海道）※募集期間：令和4年9月22日～10月21日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業		
49名	66件 / 43社	●エスポラーダ北海道（2社）	ユーロフィンQKEN株式会社（※旧株式会社キューサイ分析研究所）	株式会社SPLYZA
		●北海道コンサドーレ札幌（2社）	コミュニケーション株式会社	株式会社スプリングル
		●ヴォレアス北海道（2社）	playground 株式会社	株式会社ORIGRESS PARKS

■ 公募結果（東海）※募集期間：令和4年9月22日～10月30日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業		
62名	115件 / 68社	●名古屋グランパス（2社）	株式会社Spornia.	Edutex株式会社
		●名古屋ダイヤモンドドルフィンズ（2社）	株式会社TR2	株式会社アシュラスコープインスタレーション
		●ウルフドッグス名古屋・豊田合成記念体育館 エントリオ（TG SPORTS/豊田合成）（2社）	合同会社ダイスコネクティング	合同会社オレンジビズ
		名古屋ウィメンズマラソン（中日新聞社スポーツ事業部）（2社）	株式会社New Ordinary	アクロスロード株式会社

プログラム公募

＜参考＞ 令和3年度プログラム公募

■ 公募結果（北海道）※募集期間：令和3年9月15日～10月15日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業
74名	53件 / 35社	レバンガ北海道（3社）
		レッドイーグルス北海道（3社）

■ 公募結果（関西）※募集期間：令和3年9月15日～10月8日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業
208名	89件 / 70社	ガンバ大阪（3社）
		NTTドコモレッドハリケーンズ大阪（2社）
		関西学院大学 競技スポーツ局（2社）

■ 公募結果（中国）※募集期間：令和3年9月15日～10月29日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業
54名	73件 / 48社	サンフレッチェ広島（1社）
		広島ドラゴンフライズ（2社）
		レノファ山口（2社）

■ 公募結果（沖縄）※募集期間：令和3年9月15日～10月22日

説明会申込数	エントリー数	書類選考通過企業
88名	69件 / 48社	FC琉球（2社）
		琉球アスティータ（3社・2チーム）
		東北楽天ゴールデンイーグルス（2社）

プログラム公募 効果を高める工夫や改善

■プログラム公募・企業選考での工夫・改善・新しい取組

令和4年度は、プログラム公募・企業選考においての工夫として、応募の量や質を高めること、選考において質を高めることへの下記取り組みを行った。

●関連イベントでのブース出展の新しい取組

- ・SPORTEC2022出展での「地域版SOIP」プロモーション

●企業の選考における工夫や改善

- ・企業の書類選考における一次スクリーニングの実施（甲信越・北陸エリア）
- ・企業の最終選考会の前個別ヒアリングの実施（東海エリア）

など

結果、地域版SOIPプログラムの理解や参加関心を多様な企業に高めてもらうことができ、選考における質を少しでも高める工夫ができた。なお、この量と質は常に高め続けていく必要がある。

令和4年度
強化・工夫

プログラム公募 SPORTEC2022出展

■ SPORTEC 2022へのブース出展の試み

SPORTEC2022出展での「地域版SOIP」プロモーション

東京ビッグサイトにて開催の「SPORTEC2022」にて、スポーツ庁ブースの出展を行い「地域版SOIP」の取り組みをアピール。昨年度採択されたスタートアップの中から、ケアプロ／リアルワールドゲームス／tazawaが参加し、スポーツビジネス関係者に向けて、昨年度の取り組みや事業内容に関する説明を実施。2022年7月27日（水）～29日（金）の3日間。

出展の様様



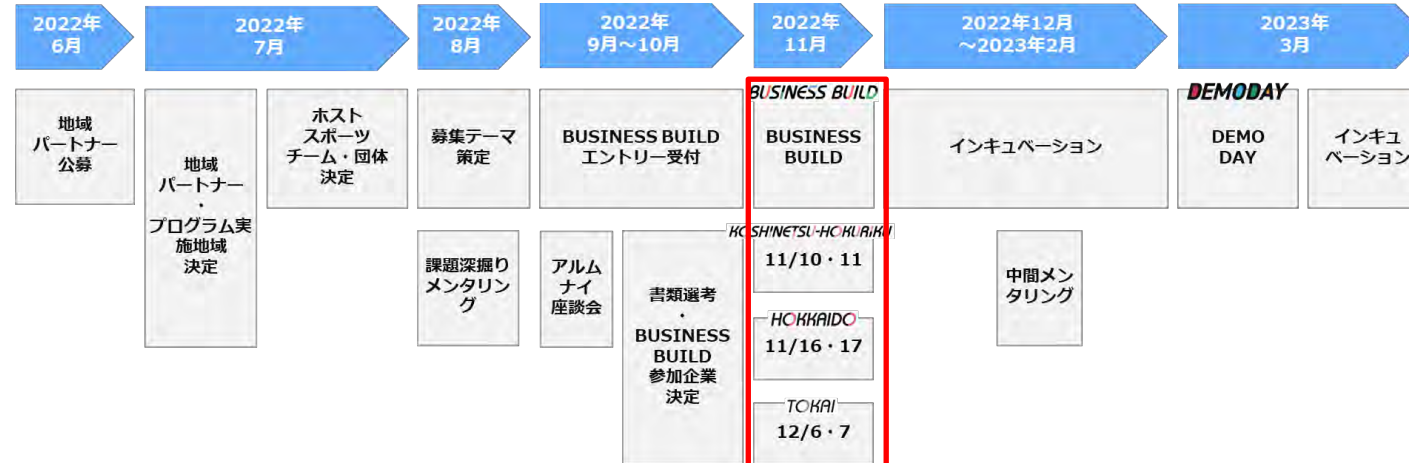
今後の改善点

プログラム公募(企業選考) 今後の改善点

■プログラム公募（企業公募と選考）に関する今後の改善点

- **プログラム公募へ応募する企業の、SOIP・共創の理解を高めていくこと**
共創・オープンイノベーションがまだ社会的浸透していない現状でもあり、スポーツチーム等と取り組む共創、SOIP、本プログラムの理解を少しでも高めた状態で応募・参加してもらう工夫をしていきたい。また本プログラムへ触れることが理解を高めることとする。
- **本プログラムの認知と関心を全国多種多様な企業にもっと広めていくこと**
本プログラム「地域版SOIP」をまだ知らない企業、スタートアップ等は全国にまだ多くいる。スポーツ×他産業で新しい事業やスポーツチーム活性をしていくには、多種多様な企業が参加していけるようにしたい。地域版SOIPの理念と価値を伝えていく。
- **企業選考での書類選考フロー改善（共創パートナー候補企業の絞り込みの質向上）**
多くの応募企業の中からの書類選考による企業選定（BUSINESS BUILD参加2社選考）におけるマッチングの質を高めることは一つのポイントである。一次スクリーニングや事前企業ヒアリング、選考前面談などの工夫による限られた期間内での最大化が改善点である。
- **企業の参加における体制**
企業のプログラム参加における体制もポイントである。決定権ある方の参加はもとより、複数人で参加のコミットメントが最初からできるように促す。

BUSINESS BUILD



BUSINESS BUILD

■ BUSINESS BUILD（ビジネスビルド）について

2日間でビジネスの骨格を創り上げるeiicon独自のアクセラレーションプログラム。ビジネスとして社会実装を目指すプランへ2日間でブラッシュアップすることを目的に、書類選考を通過した企業とホストが、メンターや事務局のサポートを受けながら2日間のディスカッションを通じて事業プランを策定。ブラッシュアップされた事業プランを2日目のプレゼンで発表し、実証・実装に向けたインキュベーションへと進む事業プランとパートナー企業を採択。

2日間の流れとゴール

DAY1

- ・ オープニング/プログラム説明
- ・ インプットtime
- ・ メンタリングtime
- ・ **中間プレゼン・フィードバック**
- ・ メンタリングtime

GOAL

ターゲットと課題の明確化、ソリューションの方向性検討

DAY2

- ・ メンタリングtime
- ・ プレゼン準備
- ・ **最終プレゼン**
- ・ 審査
- ・ 結果発表

GOAL

ビジネスモデルの骨子策定／事業展開までのマイルストーン設計／PoC計画策定

審査項目

評価項目	点数
①新規性	／5
②テーマとの合致性	／10
③市場性	／5
④事業拡張性	／5
⑤実現可能性	／5
合計	／30

BUSINESS BUILD

■ BUSINESS BUILDにてパートナー企業を選定

『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』と題して、全国3箇所でアクセラレーションプログラムを開催。結果、計10プロジェクトが採択され、その後のインキュベーションへと進んだ。

地域	日程	会場
甲信越・北陸	令和4年11月10日・11日	長野市生涯学習センター
北海道	令和4年11月16日・17日	ACU-A（アスティ45）
東海	令和4年12月6日・7日	ウインクあいち

BUSINESS BUILD 当日の様様



BUSINESS BUILD

■ 採択結果（計10プロジェクト）

地域	ホスト	採択企業	共創タイトル
甲信越・北陸	公益財団法人長野県スキー連盟	富士通株式会社	スキーをもっと上達できもっと誰かと繋がれる
	信州ブレイブウォリアーズ	株式会社ウェルナス	健幸に寄り添う勇者のチーム信州ブレイブウォリアーズ！
	松本山雅FC	株式会社DATAFLUCT	松本山雅エコ活アプリ“ゼロカーボンチャレンジ”スポンサープランのご提案
北海道	エスポラーダ北海道	ユーロフィンQKEN株式会社 (※旧株式会社キューサイ分析研究所)	日本初?! エビデンスに基づいた食育! スポーツ×サイエンス×データ=食育
	北海道コンサドーレ札幌	コミュニケーション株式会社	コンサ・自治体・市民・企業が融け合う地域コミュニティの形成
	ヴォレアス北海道	playground 株式会社	旭川に、未だ見ぬ熱狂と誇りの共創を生み出す ～ヴォレアスの推し活動が自分であり街の誇りになる世界の実現～
東海	名古屋グランパス	株式会社Spornia.	グランパス様と共に創る、サッカーをきっかけにした “日本一こどもたちが成長する”まちづくり
	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	株式会社TR2	名古屋ダイヤモンドドルフィンズがまちと一緒に作るロゲイニング ～まちを知ってスキになる～
	ウルフドッグス名古屋・豊田合成記念体育館エントリオ (TG SPORTS/豊田合成)	合同会社ダイスコネクティング	ウルドくんGamePark ～いつでも、どこでもウルドくんゲームで選手と遊ぼう!～
	名古屋ウィメンズマラソン (中日新聞社スポーツ事業部)	株式会社New Ordinary	世界最大の女子マラソン 新たなエンゲージメント拡大

BUSINESS BUILD 効果を高める工夫

■ 共創アイデア、共創事業プランの質を高める工夫

令和4年度は、参加企業がスポーツチームの実情や現場の理解や把握を高めて共創取組に臨んでもらう事の重視、メンタリング強化など、下記の工夫や新しい取組を行った。

- 参加企業のBUSINESS BUILD参加前の理解を高める工夫
 - ・ 「スポーツチーム現地視察」の実施
 - ・ 参加企業への事前情報インプット実施、現地動画の共有
 - BUSINESS BUILDでのメンタリングの質を高める工夫
 - ・ メンターへの各共創アイデア、各スポーツチーム事情などの事前インプット強化
 - ・ メンタリングでのメンター特性（強み）に合わせたメンターアサイン
 - BUSINESS BUILDプログラム自体の理解を高めてもらうための取組
 - ・ BUSINESS BUILDの記録・プロモーション映像制作
- など

結果、熱のこもったBUSINESS BUILD 2日間となり、質の高い共創プランと発表につながった。

令和4年度 強化・工夫

BUSINESS BUILD

■スポーツチームの現地視察

スポーツチームや地域課題を理解した上でディスカッションの質を高めるために、事前の現地視察の実施を設計。

3エリアのうち「松本山雅FC」「信州ブレイブウォリアーズ」「ダイヤモンドドルフィンズ」「ウルフドッグス名古屋・豊田合成エントリオ」の4チームが、ホストの案内のもと会場や試合の様子、周辺エリアへの理解を深めた。事前の現地視察が実施できないチームや参加できない企業に対しては、情報インプット打合せを個別実施し理解を高めた参加をしてもらう工夫も行う。

現地視察の模様



例) ウルフドッグス名古屋
アリーナ「豊田合成エントリオ」



例) 信州ブレイブウォリアーズ
試合現場



例) 松本山雅FC 試合現場

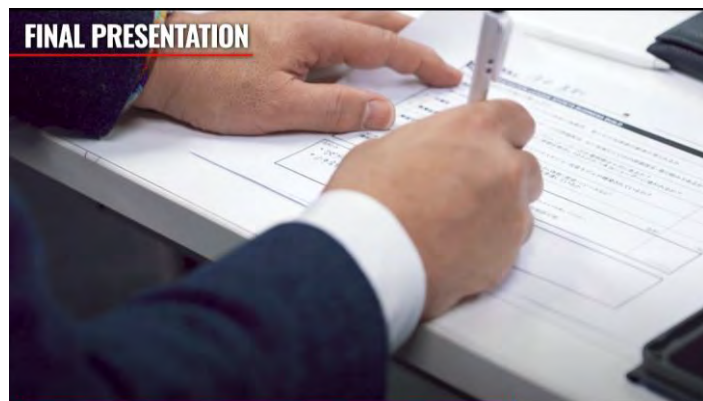
令和4年度 強化・工夫

BUSINESS BUILD

■プロモーション映像制作

ビジネスビルドの2日間の流れや現場の熱気を伝え、次年度以降の活動に活かすべく、東海工リアのビジネスビルドにて動画撮影を行い、プロモーション動画を制作。

(<https://youtu.be/zatBrpUux4I>)



BUSINESS BUILD

BUSINESS BUILD アンケート結果

BUSINESS BUILD参加者・関係者に対してアンケートを実施

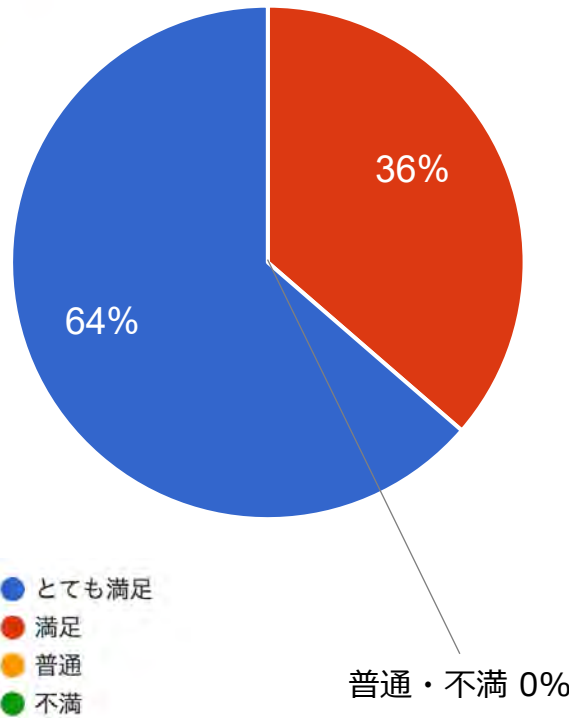
BUSINESS BUILD

【甲信越・北陸エリア】 BUSINESS BUILDアンケート

対象：参加（書類選考通過）企業 / 回答数：11

上記満足度の理由を教えてください。

満足度



提案まで漕ぎ着けたから

様々なメンターさんのおかげ、短期間でアイデアをブラッシュアップすることができたため。

この上ないキャリアをもったメンターさんからのコメントが大変参考になりました。

自社としてこういった取り組みをするのが始めてではあったが、ホストチームであったり運営のかたがたの熱量を感じることができ、新しい取り組みに挑戦することができたから。

これからリリースするサービスのビジネスモデルのブラッシュアップができた。メンターの皆様から様々な視点からご指摘いただけたことが財産になりました。

この場が無ければできなかった新しいビジネスを作ることができて本当に貴重な体験になりました。

色々な課題を、それぞれの専門の方の意見をもらいながら自分達の考えの及ばない分野でのアドバイスを頂きながら作り上げる事ができる点

たくさんメンターの方からのFBがあり、高速でブラッシュアップできた

メンターの方より、本当に幅広い観点でアドバイスいただきました。また、なんと言ってもホストチームの方より、最後までたくさんのアドバイスをいただきました。

圧倒的な知識量と熱量を持つメンターとサポーターの方、そして想いを持ったホストの方プレゼンのスキルアップのみならず様々な交流が出来たこと。

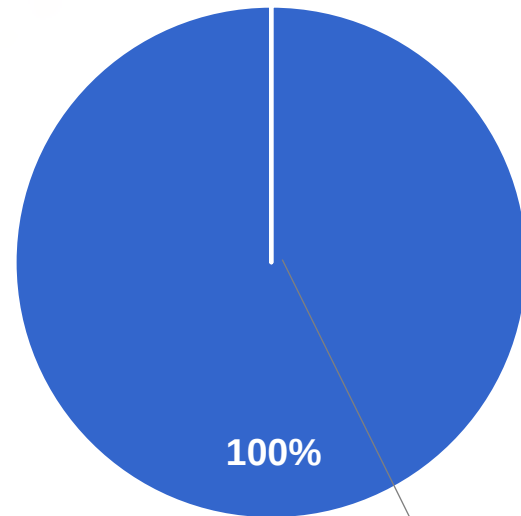
BUSINESS BUILD

【北海道エリア】 BUSINESS BUILDアンケート

対象：参加（書類選考通過）企業 / 回答数：6

上記満足度の理由を教えてください。

満足度



- とても満足
- 満足
- 普通
- 不満

満足・普通・不満
0%

自分達では気づかないサービスのメリットの本質に気づけました。時間もタイトの中、メンターの方々からの容赦ない叩きはきつかったですが、採択・非採択抜きにしてほんとに参加して良かったです。

初めてこのようなイベントに参加したこともあり、直接クラブチームの方のご意見やメンターの方々の意見は自分では想像もできなかった領域の話も聞けたり、他の業界に精通している方の目線のお話はとても為になりました。

新しい事業を産み出す難しさと楽しさを2日間という業務に支障が出ないギリギリの範囲で楽しめたことは非常の楽しかったですし、社内でもやりたいなと思いました。

普段、思考を巡らせないレイヤーから、自社の強み・ビジネスモデルを深く考える機会ができた大変有意義でした。

未開拓の事業に進められたこと。

今までにない体験と勉強をさせていただいた。

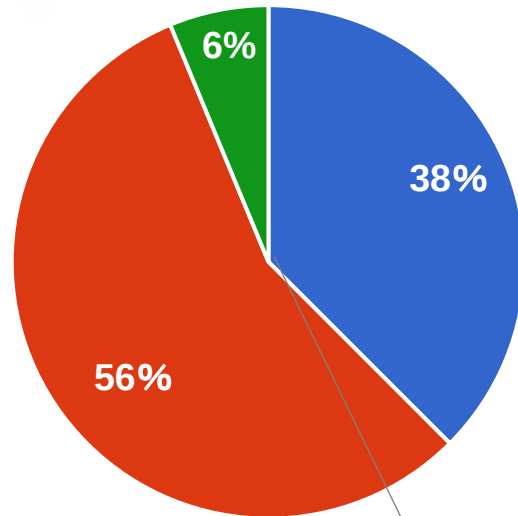
BUSINESS BUILD

【東海エリア】 BUSINESS BUILDアンケート

対象：参加（書類選考通過）企業 / 回答数：12

上記満足度の理由を教えてください。

満足度



- とても満足
- 満足
- 普通
- 不満

普通 0%

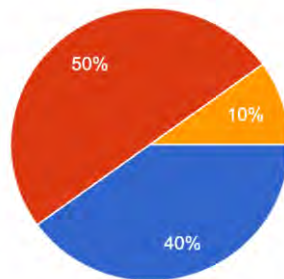
ガッツリ指導頂き解像度が上がりました。
良い出会いがたくさんあった。自社の発表がしっかりできた
プレゼンの出来高
イレギュラーに対して真摯に対応頂けた事
皆さんが本当に良くご対応頂き、感謝しています
限られた時間内ではあったが納得のいく企画案が作れたので。
改めて僕らが目指すビジョンを整理できたことと、プロクラブの方々のリソースを活用した更なる取り組みを展開することができた。
メンターさんエイコン担当さんの助言がとても参考になりました
共創という新しい経験をさせていただきました。
メンターさん達に大きく助けられながら、なんとか今回は、最後まで諦めずにアイデアを纏めることが出来ました。的確なご意見や、考えて方を教えて頂いたことで、より鮮明に共創イメージが作れましたので、今自分に出来る事はお伝え出来たと思う点です。
メンターの方やサポートメンバーの方とのビジネス構築に関する議論ができたこと
具体的にグランパス様と協業のイメージをすり合わせることができたので。商工会議所様など接点がつくりづらかった方々と連携できる可能性があったので。
オープンイノベーションという新しいチャレンジができたこと、そして事務局の皆さまが最後まで全力で伴走いただいたこと、です。
様々な角度からの意見や、お話を聞けてとても参考になりました。伝えることの難しさや、すり合わせていくことの難しさを痛感しましたが、とても実のある2日間でした。
eiiconさんはじめスタッフの皆様の事前からの親身にご対応いただきました。また当日も松尾さんからの的確なサポートをいただき、メンターの皆様からも様々な視点からアドバイスいただきました。
事務局担当者が体調不良になられた際に迅速にサポートして頂きとても満足しました。

BUSINESS BUILD

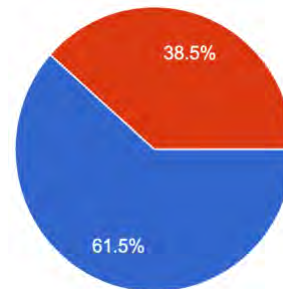
＜参考＞ 令和3年度 参加者満足度

対象：参加企業

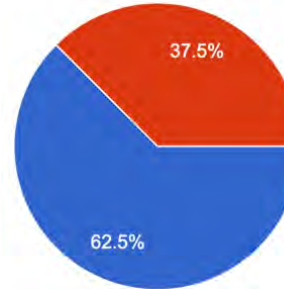
北海道エリア
(回答10件)



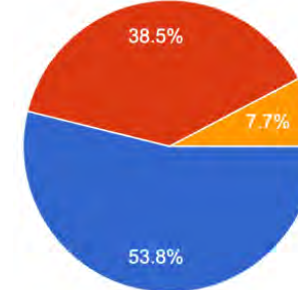
関西エリア
(回答13件)



中国エリア
(回答8件)



沖縄エリア
(回答13件)



● とても満足
● 満足
● 普通
● 不満

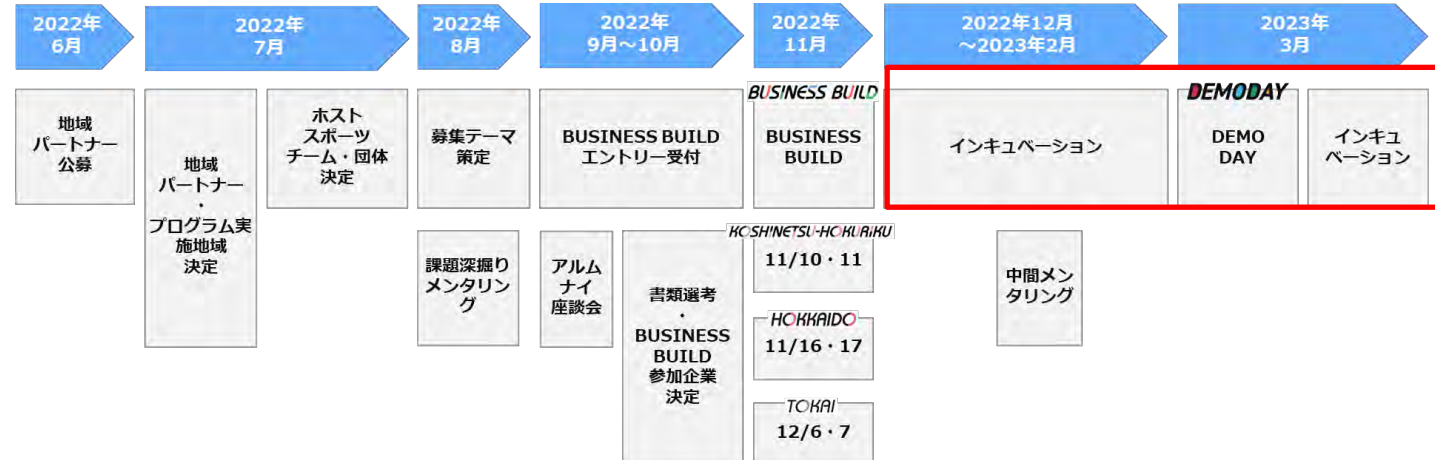
今後の改善点

BUSINESS BUILD 今後の改善点

■ BUSINESS BUILDに関する今後の改善点

- **参加企業のスポーツチーム理解をより高めて参加してもらうこと**
スポーツチームに対する課題理解度や現地解像度をより高めて参加してもらう工夫や改善点はまだある。本年度では事前視察を取り入れたことで、アリーナやスポーツチームの現場理解を高めてプログラム参加してもらうことができた。しかし参加できなかった企業、事前視察ができなかったスポーツチームもあり工夫と改善はしていきたい。
- **BUSINESS BUILD当日でのディスカッションの質と効率の更なる改善**
2日間での濃縮プログラムならではの濃いディスカッションと事業プラン検討ができるが、発散と収束、本質探求と実現可能性検討など、限られた時間での整理には限界もある。ビジネスプランシートなど事前準備で、まずは精度を高めたプラン準備で臨んでいただき、同時に柔軟な発想やプラン変更の余白も持ち得て参加してもらうことはポイントである。
- **BUSINESS BUILD当日の外部メンターによるメンタリングの更なる工夫と改善**
専門性とビジネス経験豊富なメンター陣を参加者（スポーツチーム、参加企業）がより有効に活用しやすいメンタリング工夫と改善はしていきたい。例えばメンター2名体制を実施したがメンタリング時間内では相談や助言しきれないケースもある。

インキュベーション



インキュベーション

■ インキュベーションについて

共創ビジネスアイデアの社会実装へのインキュベーション期間として、各地のBUSINESS BUILDで採択された企業とホストが、約3カ月間のPoC・事業プランのブラッシュアップを実施。毎週の定例会議を行い、日程調整、会議進行、実証内容やPoC計画進行、実証イベント実施、ビジネスプランデイスカッションなどを事務局でファシリテートする。プロジェクトごとに事務局メンターと再委託先（地域パートナー）がサポートメンバーとして担当し、事業が円滑に進むように伴走支援をした。

インキュベーションキックオフ資料

インキュベーション期間

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

インキュベーション期間とは

共創ビジネスアイデアの社会実装を目指すための期間

インキュベーションで得られるもの

仮説をもって実施したPoCで得られる検証結果を基にした
共創ビジネスアイデアへのブラッシュアップ・ステップアップ

インキュベーションMTGの様様（一例）



インキュベーション

■ 実証・実装に向けたインキュベーションの伴走支援

共創を進めるにあたってのチームビルディングやマイルストーンの設計、ビジネスモデルやサービス内容の検討、実証内容や検証項目の設計など、事務局やメンターが伴走しながらのメンタリング・アドバイスにて支援。

実証開始時などは、プレスリリースやSNS等を活用しながら、プロモーション支援を実施。

実証関連のプレスリリース／写真／メディア露出一例



PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース・報道関係者へのお知らせ

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | その他

【スポーツ庁 地域版SOIP 共創事例】信州ブレブウォリアーズ×ウェルナス、『選手・ブースター(ファン)への「AI食」情報提供で健康を目指す』実証を開始！

スポーツ庁 × eicon company 『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』甲信越・北陸エリア採択。2023年1月20日（金）より。

eicon company
2023年1月20日 17時51分

eicon company（所在地：東京都港区南青山、代表：中村 亜由子）は、スポーツ庁より委託・運営している、スポーツとあらゆる産業の共創でビジネス創出を目指すアクセラレーションプログラム『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』甲信越・北陸エリアにて信州ブレブウォリアーズ（株式会社信州スポーツビルド）に採択された株式会社ウェルナス（以下、ウェルナス）との実証を2023年1月20日（金）より開始することを発表いたします。

「健康に寄り添う勇者のチーム
信州ブレブウォリアーズ！」

BRAVE WARRIORS × **Wellnas**

プロバスケットを日常に浸透させ
「長野県（信州）全域」を健康へ

食で実効的な健康を促ける

食が体に与える影響は人によって全く違います。
健康、食べる喜び、量と食べるか、どこで食べるか・・・
普段過ごしている日常で、何気なく選択している食に
信州ブレブウォリアーズと寄りそうことで全ての人を健康にします。

INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022 信州ブレブウォリアーズ × Wellnas 共創事例
「AI食」情報提供で健康を目指す。実証開始。2023年1月20日（金）より開始。

日本経済新聞

ドルフィンズ、2月に街歩き競技「ロゲイニング」開催 - 日本経済新聞

バスケットボールBリーグの名古屋ダイヤモンドドルフィンズは街歩きを楽しむスポーツ「ロゲイニング」を2月25日に名古屋市内で開催する。繁華街の栄や名古屋駅、名古屋城を中心にしたエリアに設けたチェックポイントを制限時間内に多くまわることが競う。観光名所の振興や、イベント開催を通じたファン開拓をねらう。企画会社のTR2（長野県東御市）と共催する。1月24日、栄の施設「ドルフィンズポート」でチェック

1月24日 (85 kB)



インキュベーション 効果を高める工夫

■PoC、検証、ビジネスモデル構築、社会実装計画などの質を高める工夫

令和4年度は、4月以降の社会実装につなげていくためのより質の高いインキュベーション支援の工夫として下記を実施。

●POC伴走支援でのサポートと工夫

- ・各共創プロジェクトに「担当外部メンター」をつける工夫
- ・「中間メンタリング」の実施（担当外部メンターとは異なるメンターアドバイス）
- ・事務局メンターのPoC検証/イベントの現場参加による伴走支援の強化

●社会実装へ向けた継続サポート体制の確保

- ・地域パートナーの各共創プロジェクト担当
- ・インキュベーション進行ファシリテートの地域パートナーへの切り替え推進

結果、10プロジェクト全てが4月以降の取組継続となり、社会実装・事業化へ向かっている。

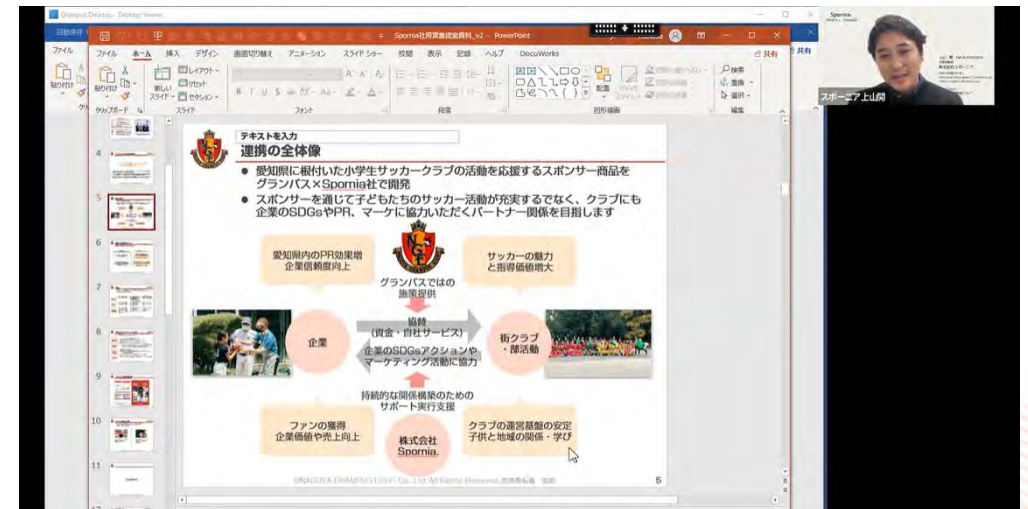
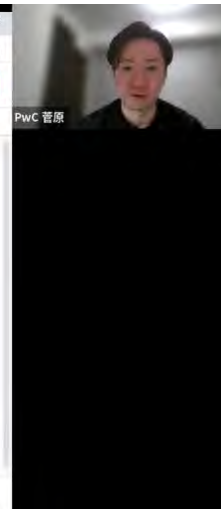
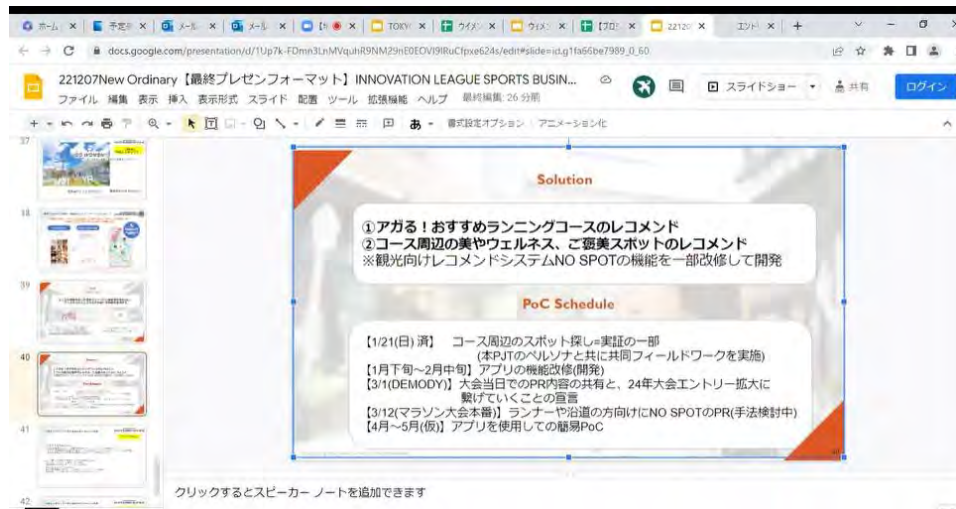
令和4年度
強化・工夫

インキュベーション「中間メンタリング」

■担当外部メンターによる中間メンタリング

インキュベーションでの実証（POC）期間の中間で、外部メンターによる中間メンタリングを実施。ホスト&採択企業のペアで、各チーム1時間でオンライン相談形式で行う。実施次年度以降の社会実装を見据え、ビジネスプランの実証・実装に向けたPoCの計画が目的から逸れていないか、ビジネスの成長可能性があるか、などを第三者の視点でチェックし、必要に応じて軌道修正を行った。

中間メンタリングの様様



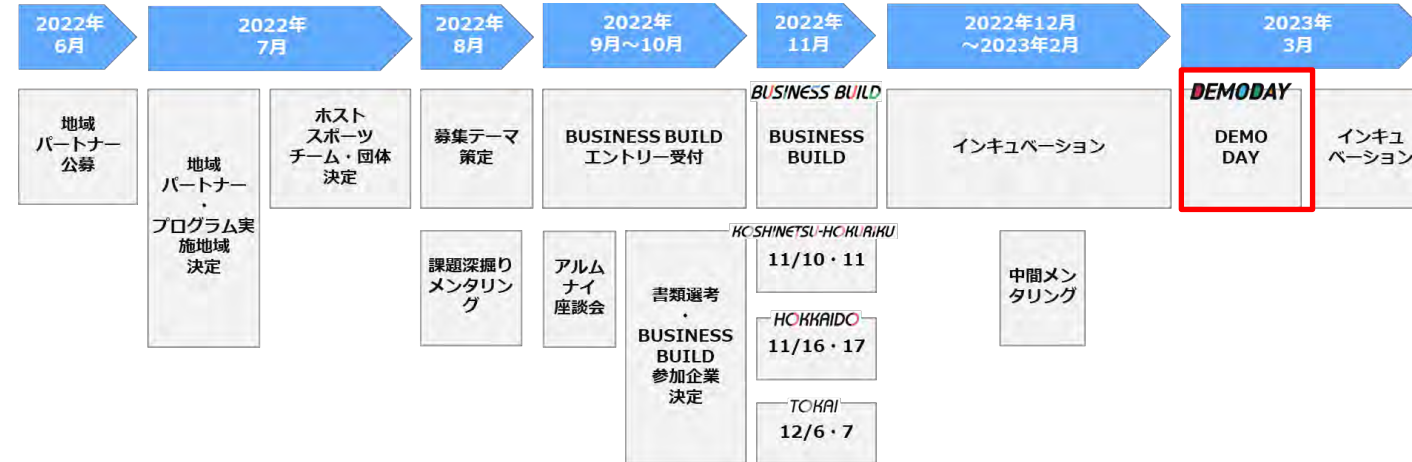
今後の改善点

インキュベーション 今後の改善点

■ インキュベーションに関する今後の改善点

- **スポーツチームと企業との間の本質的な目線合わせへのサポートと工夫**
インキュベーションとPOC実施に向かう際に、プログラムの限られた時間という制約から、どうしても目先POCの短期視点になりがちである。インキュベーション初期段階から本質的な課題着眼点、中長期展望やビジョン、そして事業プランの整理と目線合わせは、ポイントとなる。そのための一つの方策としてはインキュベーション初期段階での現地・現場でのディスカッションであり、本音での意見交換の機会創出などのサポートである。
- **地域パートナーと事務局メンターと外部メンターの協力したサポートと工夫**
スポーツチームと企業の当事者をサポートする体制として、地域パートナー、事務局メンター、外部メンターがいる。それぞれが共創プロジェクトの社会実装や成功に向けてのアドバイスやメンタリング、伴走をしているがそのサポートの連携や工夫はあってもいいかもしれない。定期的にサポートメンバー間での認識すり合わせや意見交換、サポート方針整理ができるとよりよいインキュベーション体制にできるかもしれない。
- **中長期視点での社会実装、スポーツチーム経営改善、地域活性化へのスタンス**
本プログラムの制約や枠にとらわれずに、本質的で実効性のある取り組みに向かうインキュベーション支援を常に心がけていくこと。

DEMODOY (成果発表)



DEMODOY（成果発表）

■ DEMODOY（デモデイ）について

本事業（地域版SOIP）の周知、ホストスポーツチーム・団体と採択企業による共創プロジェクトの内容の周知、スポーツの力を活用したイノベーション創出の方法のノウハウ共有、参加者同士の人脈形成などを目的に、インキュベーション期間の成果を発表するDEMODOYを開催。



実施概要

イベント名		INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022 DEMODAY					
日時	令和5年3月1日（水） 13:30～19:45	会場	ベルサール飯田橋ファースト （東京都文京区後楽2-6-1）	会費	無料	対象	・イノベーション創出に取り組みたいスポーツ産業（チーム、業界、団体） ・地域活性化に向けた可能性を模索したい事業会社、スタートアップ、自治体
内容		●オープニング： スポーツ庁より ●SPECIAL SESSION： 『スポーツの力 —地域に根差したビジネス・課題解決のためのTips—』 ●INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD共創12チームによる成果発表： ●表彰 ●ネットワーキング、交流会					

DEMODAY（成果発表会）

■コンテンツ概要

各クラブ・チームのトップでありイノベーターでもある方々のスペシャルセッションや、挑戦者の共創ピッチを通して、新たな未来に向けたヒントが得られるコンテンツを設計。

SPECIAL SESSION 『スポーツの力 一地域に根差したビジネス・課題解決のためのTipsー』

セッション登壇者

・パネラー
川森 敬史氏 アビスパ福岡株式会社 代表取締役社長
水野 勇気氏 秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役社長
岩崎 亮輔氏 一般社団法人コンサドーレ北海道スポーツクラブ 代表理事

・モデレーター
平地 大樹氏 プラスクラス・スポーツ・インキュベーション株式会社 代表取締役インキュベーター

目的・狙い

既存の枠を超え、地域と新たなつながりを創り、チーム・団体、地域の課題解決に取り組んでいる4名より地域ビジネスにおける「スポーツ」の可能性、地域に根付いていくために必要なことを経験・事例を交えながらお話いただき、聴講者の新規事業創出や事業運営のヒントにさせていただく。

- ・エッセンス①：「共感」によってその地域の人々や企業、行政を動かす！その手段としてのスポーツ産業とのオープンイノベーションの有効性
- ・エッセンス②：一過性のものではない、地域と並走していくことが重要！そのためのビジネス（経済性）・持続性を実装するためには。

CO-CREATION PITCH - INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022 採択10チームの共創ピッチ

目的・狙い

INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILDで採択された10チームが地場企業や、ビジネスに精通したメンターの協力のもと、インキュベーションをに取り組み、その成果を発表する共創ピッチ。

その地域の課題、クラブの課題、そこに対してオープンイノベーションというツールを活用しどんな新ビジがもたらされようとしているのか。聴講者のスポーツビジネス、地域活性化に向けての取り組みのヒントや一歩を踏み出すきっかけにさせていただく。

DEMODAY (成果発表会)

■ 参加者募集

一般参加者募集用WEBページ

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022
DEMODAY
2023.3.1 [Wed]

スポーツで、地域に新たなつながりを生み出すために。
ー地域が、自治体が、企業が、スポーツとの共創で未来を拓く1日ー

ENTRY 参加申込 無料 >

• CONTENTS •
コンテンツ

室伏広治 スポーツ庁長官

PANELIST パネラー

川森敬史
アビエノ福岡株式会社 代表取締役社長

水野勇気
秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役社長

岩崎亮輔
一般社団法人コンサドーレ北海道スポーツクラブ 代表理事

MODERATOR モデレーター

平地大樹
プロフェッショナルスポーツインキュベーション株式会社
代表取締役インキュベーター

DEMODOY（成果発表会）

■ DEMODEAY当日

DEMODOY当日の様様



DEMODOY（成果発表会）

■ 実施結果

DEMODOY 実施結果	
参加申込状況	
応募	441件
当日参加者数	
一般参加者	159件
関係者	71名（スポーツ庁・eiiconの関係者は除く）
合計	230名（スポーツ庁・eiiconの関係者は除く）

＜参考＞ 令和3年度

参加申込状況	
応募	383件
当日参加者数	
一般参加者	130件
関係者	62名
メディア	4名
合計	196名

DEMODOY（成果発表会）

■開催結果（共創ピッチ受賞プロジェクト）

特別審査員賞

※事業の新規性や地域性、社会貢献度を考慮し「より地域版SOIPを体現しているチーム」を、審査員が選出。

◇ 評価項目

- ①新規性 / ②地域性
- ③社会性 / ④経済性

公益財団法人長野県スキー連盟（スキー・スノーボード）・株式会社富士通ローンチパッド

ースキーをもっと上達できもっと誰かと繋がれる

スマホ動画で撮影した自身のスキーの滑りを解析したり、その動画や練習メニューを成長記録として保存可能なカレンダーツールを提供する。オンラインでシェアしてつながり、励む仲間が増えることで、リピーター獲得と離脱防止、“熱狂的な人”をつくる。“バズる”サービスとして、県内・全国・世界へと育てる。



オーディエンス賞

※参加者の皆様に、最も共感・関心を持ったピッチの内容に投票頂き、1チーム選出。

ヴォレアス北海道（バレーボール） × playground株式会社

ー旭川に未だ見ぬ熱狂と誇りの共創を生み出す～ヴォレアスの推し活が自分であり街の誇りになる世界の実現

熱狂的ファンに欠かせない「推し活」に着目。

ファン自らが撮影した写真を使用した選手のデジタルカード「ファンダム証明書（NFT）」を発行し、試合への来場、企画への参加など、チームを応援するアクションへの御礼としてプレゼント。証明書をコレクションアイテム化することによるファンダム（熱狂的なファン）化、さらには発行対象や共創対象の拡大で、“旭川推し”“シビックプライド向上”を目指す。



DEMODOY（成果発表会）

■ 審査員特別賞 採点結果

		北海道01	北海道02	北海道03	甲信越・北陸	甲信越・北陸	甲信越・北陸	東海01	東海02	東海03	東海04
		エスポラーダ北海道×ユーロフィンQKEN	北海道コンサドーレ札幌×コミュニケーション	ヴォレアス北海道×playground	長野県スキー連盟×富士通ローンチパッド	信州ブレイブウォリアーズ×ウェルナス	松本山雅FC×DATAFLUCT	名古屋グランパス×Spornia.	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ×TR2	ウルフドッグス×タイスコネクション	ウィメンズマラソン×New Ordinary
		日本初?!エビデンスに基づいた食育!	コンサ・自治体・市民・企業が駆け合う	旭川に、未だ見ぬ熱狂と誇りの共創を生み出す	スキーをもっと上達でき もっと誰かと繋がれる	健幸に寄り添う勇者のチーム 信州ブレイブウォリアーズ!	松本山雅エコ活アプリ “ゼロカーボンチャレンジ” スポンサープランのご提案	サッカーを軸に地域の方々と共に創る子供中心の育成コミュニティ	名古屋ダイヤモンドドルフィンズがまちと一緒に作るロケイニング	ウルド わいわい PARK オンライン いつでも、どこでもウルドくん学びゲームで選手と遊ぼう!	GO WOMEN!!! ～全ての女性に笑顔と幸せとご褒美をレコメンド～
審査項目											
①新規性 / 20点	・そのチーム/地域にとって新たな付加価値となる取り組みであるか?	(詳細非公開)									
②地域性 / 40点	・地域ならではの課題設定・取り組みであるか?										
③社会性 / 20点	・社会貢献・社会課題の解決に資する取り組みであるか?										
④経済性 / 40点	・ビジネスとして持続的に取り組める内容となっているか?										
合計点/120点											

DEMODOY (成果発表会)

■ オーディエンス賞採点結果

最も「応援したい」と感じたチームを選び、“Send”ボタンを押してください。＊Sendを押した後も、投票し直すことは可能ですが、票が反映されるのは、最後に選んだ1票のみとなります。

【北海道03】ヴォレアス北海道 × playground

(詳細非公開)

(詳細非公開)

DEMODOY（成果発表会）

■レポート記事、アーカイブ動画

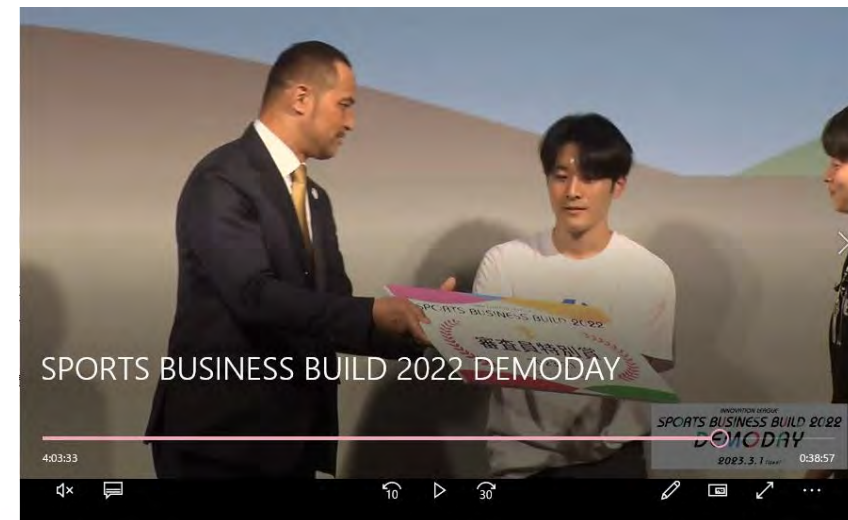
DEMODOY当日に現地でご参加いただいた方々への振り返り用はもちろんのこと、当日ご参加いただけなかった方々へのイベント内容の周知を目的として、DEMODOYの様態を取材・編集したレポート記事も公開。計10プロジェクトによる共創ピッチの内容、スペシャルセッションの内容をレポートして配信を実施。

また、DEMODOY当日の様態を録画・編集したアーカイブ動画も制作。
動画はスポーツ庁YouTubeアカウント上で公開することで、広く周知・閲覧していただけるように展開。

DEMODOYレポート記事



DEMODOYアーカイブ動画



DEMODOY（成果発表会）

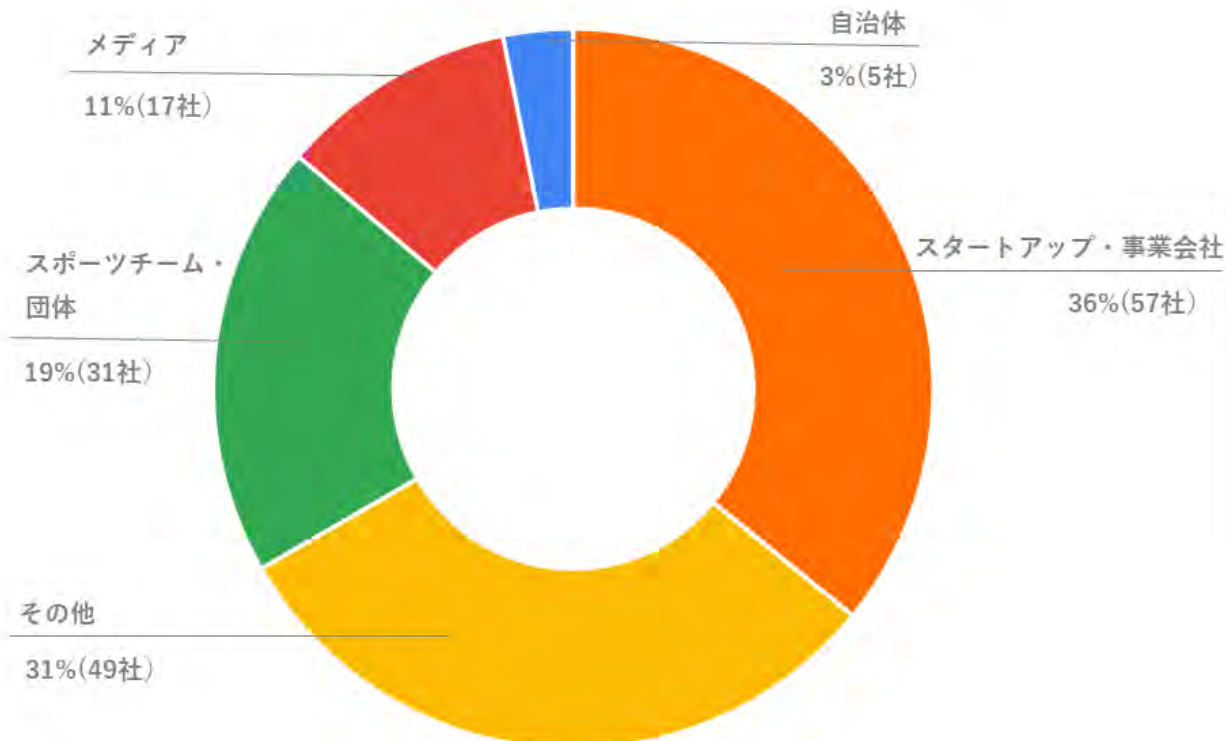
DEMODOYアンケート結果

DEMODOY参加者・関係者に対してアンケートを実施

DEMODOY（成果発表会）

参加者のあてはまる業界

一般参加者159名の業界分布



スタートアップ・事業会社 : 36%(57社)
 スポーツチーム・団体 : 19%(31社)
 その他（一般社団法人や大学等） : 31%(49社)
 今後につながる業界の方々が参加

一般参加者アンケート結果

回答数：106件

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

昨年度の回答数：42件

参加の目的

スポーツに関連する回答

- | |
|--|
| アマチュアスポーツ(カレッジスポーツ)の活性化、イノベーション、地域密着、プロレベルに応援されるチーム近づけるには？ |
| オリジナルのスポーツ発展のヒントや出会いを得るため |
| スポーツが少子高齢化対策に繋げるためのヒントになればと。 |
| スポーツチーム／団体様との新しい取り組みのヒントを掴みたいと思い参加させていただきました。 |
| スポーツチームとして地域との関わり方など学びたかったから |
| スポーツで地方創生をするためのアイデアや考え方、最新の取り組みについて興味があったため |
| スポーツにおける地域活性化 |
| スポーツを活用した地域創生の実例をお聞きしたく参加しました。 |
| スポーツ産業・事業、スタートアップの情報収集および関係構築 |
| スポーツ事業の新規事業を検討している |
| ホストチームとしてSOIPへの取り組みへ貢献したい |
| 企業、行政、地域との連携の方法 ヒトモノカネの運用方法などを知りたかった |
| 自社でスポーツチームとの共創する事業、イベント等ができないか模索しており、その参考にするため。 |
| スポーツと地域振興のシナジーを深堀したいため |
| スポーツビジネス市場調査 |
| スポーツマーケティングをビジネスに活かす為 |

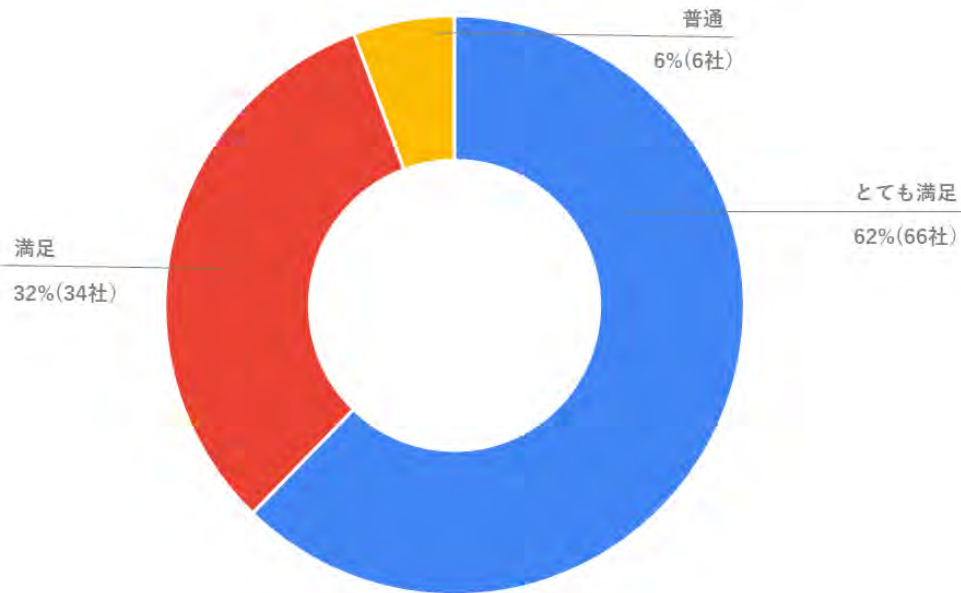
一般参加者アンケート結果

回答数：106件

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

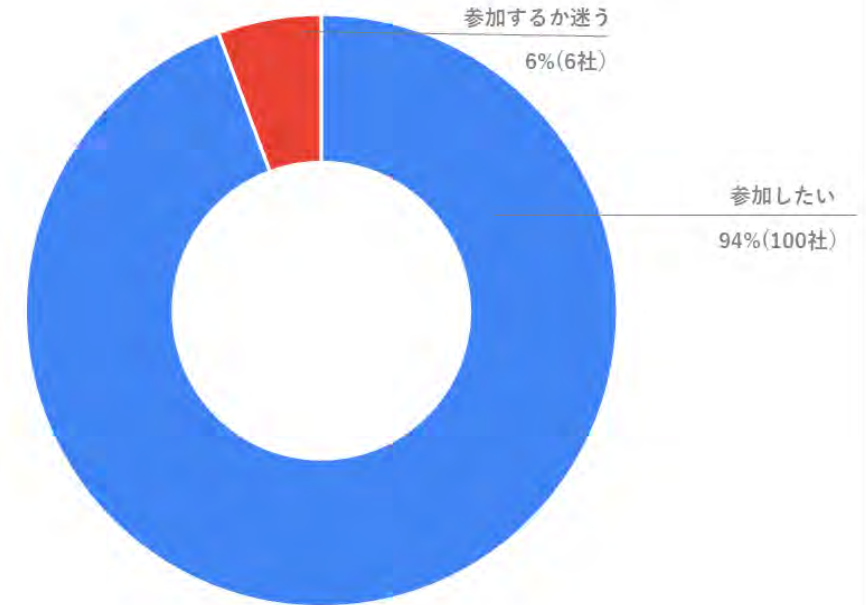
昨年度の回答数：42件

DEMODAYへの満足



※選択項目は以下
とても満足（66） / 満足（34）
普通（6） / 不満足（0）

次回イベントへの参加意欲



※選択項目は以下
参加したい（100）
参加するか迷う（6）

関係者アンケート結果

回答数：35件

昨年度の回答数：11件

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

【DEMODAYについて】

ありがとうございました。大変満足してます。丁度新しいスポーツ事業の参考になりました。

改めて参加をさせていただきありがとうございました。
私自身の学びにもなりまし、次年度もまた、地域×スポーツ×にご協力できればと思いました。また、お声かけいただければ幸いです。

関西、滋賀県も対象にしてほしい。

地域xスポーツx教育(人材育成)を考えています。地域版SOIPの参加に興味があるので次の開催など案内をいただきたいです

思っていた以上に参考になることが多く、ためになりました。

プレゼン資料などを閲覧できるような仕組みがあれば幸いです。

具体事例ばかりで良かったです。

大変勉強になりました！同じスポーツ庁が公募される予定である学校体育施設の有効活用についての実証事業についても大変興味があります！

名古屋から足を運んで良かったです！ありがとうございました！

本日のpitchを聞き、我々も何かご協力できればと思いました。

個人的にもスポーツは観るのもやるのも大好きなので、とても面白かったです。

今回の取り組みのがいようがわかる資料があれば、参考にいただけたらうれしい。

一般参加者アンケート結果

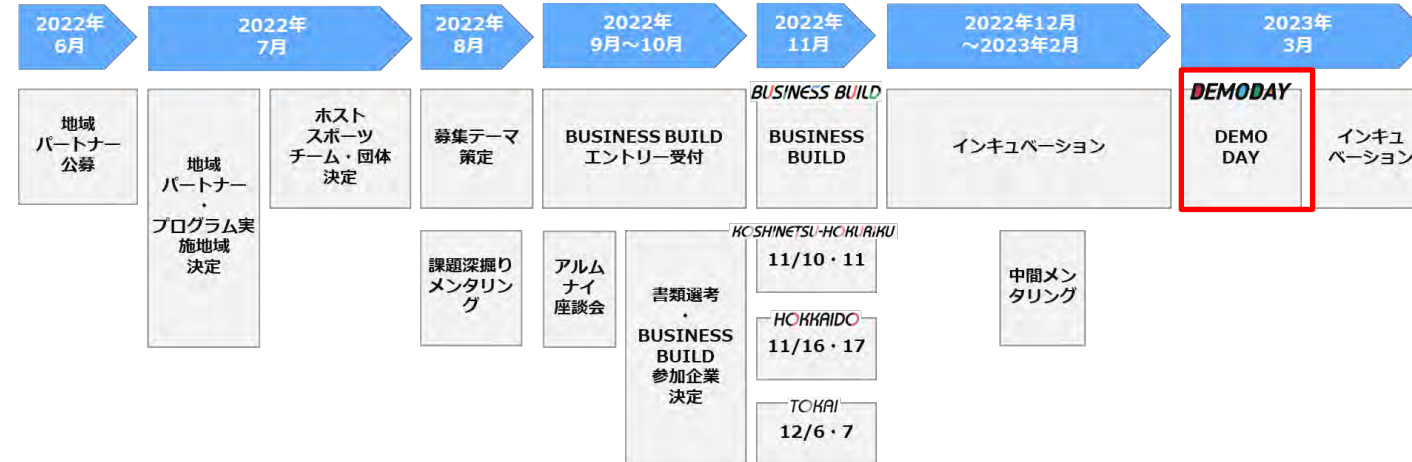
回答数：106件

繋がりたいチーム・企業の回答



ネットワーキング以外で305件の連携を創出

地域主催DEMODOY（成果発表）

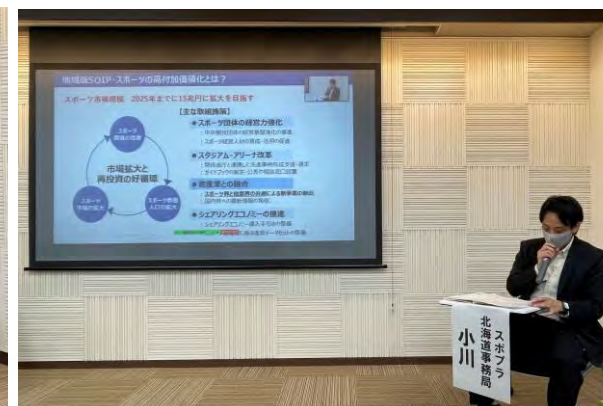


地域主催DEMODAY（成果発表会）

■北海道エリア 地域主催DEMODAY

実施概要

実施概要					
イベント名		北海道エリアDEMODOY 「北海道発“スポーツ×〇〇”の可能性を考える」			
日時	令和5年3月7日（火） 15:00～16:00	会場	札幌証券取引所 2階大会議室（北海道札幌市中央区南1条西5丁目14-1）	会費	無料
主旨		「スポーツ× 」の機運醸成のため、SPOPLA北海道の会員等を対象として地域向け報告会を開催。			
内容		●「第9回SPOPRA北海道ビジネスミーティング」のプログラムで発表 ●「地域版SOIPの先進事例形成 道内採択事例紹介」（3プロジェクト） ●「スポーツツーリズムコンテンツ創出事業道内採択事例紹介」（SKI TO CAMP事業）※他スポーツ庁施策			
参加者		スポーツチームやスポーツ・観光関連事業者、自治体担当者など49名が参加。			



14:00～14:05：開会挨拶
 14:05～14:20：スポーツ庁
 14:20～15:05：取組報告①
 「スポーツツーリズムコンテンツ創出事業」
 15:10～16:10：取組報告②
 「スポーツオープンイノベーション推進事業」
 16:10～16:30：ビジネスマッチング
 「協業アイデア募集」
 16:30～17:00：名刺交換・交流会

地域主催DEMODAY（成果発表会）

■ 甲信越・北陸エリア 地域主催DEMODAY

実施概要

イベント名		地域版SOIP NAGANO DEMODAY & 2022年度 NICOLLAP事業報告会	
日時	令和5年3月6日（月） 14:00～16:00	会場	「善光寺本坊 大勧進」
主旨	「スポーツ× 」の機運醸成のため、SPOPLA北海道の会員等を対象として地域向け報告会を開催。		
内容	●「2022年度 NICOLLAP事業報告会」の第1部で発表 ●スペシャルセッション「長野×スポーツの可能性」 ・スポーツ庁関係者 ・阿部 守一(長野県知事) ・上村 愛子(元フリースタイルスキー・モーグル日本代表、白馬高校出身) ・萩原早紀子(長野朝日放送 アナウンサー)※ファシリテーター ●Co-Creation PITCH（3プロジェクト）		
参加者	100名以上の参加		



地域主催DEMODAY（成果発表会）

■ 東海エリア 地域主催DEMODAY

実施概要

イベント名		NAGOYA CONNECT 内セッション「地域版 SOIP 東海 地元報告会」概要案				
日時	令和5年3月24日（金） 17:00～19:00	会場	「なごのキャンパス」 ※オンラインのハイブリッド開催		会費	無料
主旨		「スポーツ× 」の機運醸成のため、SPOPLA北海道の会員等を対象として地域向け報告会を開催。				
内容		●「NAGOYA CONNECT」内で発表 ●タイトル：「スポーツはチャレンジャーを増幅できるか 				



事業全体の周知

■メディア『TOMORUBA』での配信

令和4年度の地域版SOIP事業の年間を通しての奇跡を追う形で、インタビュー記事やイベントのレポート記事を制作して公開。本年度の地域版SOIP事業に限らず、昨年度の地域版SOIP関係者へのインタビュー記事や、全国版SOIP運営事業者との対談記事など、さまざまなつながりを活かしたコンテンツ設計で、年間で合計13本の記事を制作した。

制作した記事は弊社が運営するメディア『TOMORUBA』を中心に、各種SNSも活用しながら公開・配信を実施。TOMORUBAやAUBAにご登録いただいている2万人以上のユーザー、FacebookやTwitterアカウントのフォロワーなど、オープンイノベーションや新規事業開発に関心のある事業会社・スタートアップ・自治体の方々に情報を届けるようにプロモーションを展開。

また、制作した13本の記事を時系列を追いながら閲覧していただけるように、昨年用意した本事業専用のランディングページを引き続き更新し、TOMORUBA上に公開。ランディングページに公開した記事をアーカイブしていくことで、事業の断片的な情報だけでなく、地域版SOIP発足からこれまでのすべての活動をご覧になっていただけるような仕組みを構築。

事業全体の周知

■メディア『TOMORUBA』での配信



専用ランディングページとアーカイブ記事

令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」、その1年間の軌跡に迫ったWEB記事を公開中！

TOMORUB特設ページ

『【地域版SOIP】スポーツの成長産業化への軌跡』



事業全体の周知

■メディア『TOMORUBA』での配信

掲載記事の一覧

No.	形式	記事タイトル	公開日
1	インタビュー	地域版SOIP2022始動！地域スポーツ×産業が秘める可能性とは——スポーツ庁・昨年度運営パートナー会談 ※昨年度運営パートナー記事	令和4年7月19日
2	インタビュー	地域連携とデータ活用がスポーツビジネスを加速させる。ガンバ大阪・レッドイーグルス北海道が挑んだ共創プロジェクトに迫る ※昨年度プロジェクト記事	令和4年9月6日
3	インタビュー	スポーツオープンイノベーションの今と未来——スポーツ市場の裾野を広げる2つの「SOIP」に迫る ※全国版連携記事	令和4年9月22日
4	インタビュー	【地域版SOIPに迫る＜甲信越・北陸編＞】冬季五輪開催地として有名な「長野」からはスキー・スノーボード、バスケットボール、サッカーが参戦！各チームが語る共創への想いとは？	令和4年9月24日
5	インタビュー	【地域版SOIPに迫る＜北海道編＞】2年目の開催となる「北海道」からはフットサル、サッカー、バレーボールが参戦！共創に取り組む背景・狙いをキーマンたちに聞く	令和4年9月27日
6	インタビュー	【地域版SOIPに迫る＜東海編＞】2026年アジア大会を控える「東海」からはサッカー・バスケットボール・バレーボール・マラソンの4競技が参戦！共創に取り組む背景・狙いをキーマンたちに聞く	令和4年9月28日
7	イベントレポート	DATAFLUCT、ウェルナス、富士通の3社が採択！2年目を迎える地域版SOIP開幕戦、＜甲信越・北陸＞エリアのビジネスビルドをレポート	令和4年12月1日
8	イベントレポート	コミュニケーション、キューサイ分析研究所、playgroundの3社が採択！地域版SOIP2度目の挑戦となる＜北海道＞エリアのビジネスビルドをレポート	令和4年12月8日
9	イベントレポート	Spornia、TR2、ダイスコネクティング、New Ordinaryの4社採択！地域版SOIP＜東海＞——熱戦を繰りひろげたビジネスビルドをレポート	令和4年12月22日
10	インタビュー	スポーツで地域はより一層活気づく。地域版SOIP地域パートナーが語る、スポーツオープンイノベーションに取り組む意義と価値	令和5年2月17日
11	インタビュー	スポーツチーム×企業の共創の“リアル”を紐解く。スポーツオープンイノベーション当事者の3チームが得た新たな視点と手応えとは？	令和5年2月24日
12	イベントレポート	事例から紐解く「スポーツの“力”と“可能性”」！地域で取り組むスポーツと他産業による共創事例とは？——地域版SOIPデモデイレポート＜前編＞	令和5年3月17日
13	イベントレポート	スポーツ×〇〇が生み出す新たな価値に迫る！北海道、甲信越・北陸、東海の3エリア10チームが挑む共創ピッチ——地域版SOIPデモデイレポート＜後編＞	令和5年3月22日

事業全体の周知

■専用Facebookアカウント

本事業専用のFacebookアカウントにて、BUSINESS BUILDのプログラム公募や、イベント当日の様々～採択結果の情報、DEMODOYの告知、各種インタビュー記事やレポート記事の拡散に加え、実証の様子を伝える写真など、本事業に関する情報をSNS上で継続的に発信。関心を持っていたユーザーをファン化し、継続的に情報を届けるための施策として、プロモーションを展開。

INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD Facebookページ



<https://www.facebook.com/ILSBUSINESSBUILD>



事業全体の周知

■ Slackでのコミュニティ運営

全国3箇所のBUSINESS BUILD参加者、ホストとなるスポーツチーム・団体、メンター、地域パートナー、スポーツ庁、さらには、昨年度の地域版SOIP関係者とも繋がり、継続的にコミュニケーションをとれる場とする目的で、昨年用意したSlack上の専用ワークスペースを本年度も活用。事業が終了した次年度以降も、本Slackのワークスペース参加者同士で継続的にコミュニケーションがとれるよう、持続的な場として提供。

また、各プロジェクトの実証に向けたインキュベーションも当ワークスペース上に個々のチャンネルを設置し、Slack上でプロジェクトの進捗状況を把握できるように活用。令和4年度の活動のみならず、次年度以降も続く各プロジェクトの進捗状況を常に把握でき、必要に応じて適切なフォローができる体制を構築。

地域版SOIP事業 Slackチャンネル



事業全体の周知

■ SNS・プレスリリース等での配信

事業開始、再委託先の公募、プログラム公募、採択決定、実証実験の実施、DEMODOYの告知、DEMODOYの開催報告などの節目や、重要な情報公開のタイミングでは、プレスリリースを配信。スポーツ庁・事務局・地域パートナーが保有するメディアリレーションも活用しながら周知を実施。また、プレスリリース配信時や記事公開時などの情報については、前述の本事業専用Facebookアカウントでの情報配信、AUBAとTOMORUBAのFacebookやTwitterアカウントのフォロワーへの情報発信、Facebook・Twitter・Instagram等各種SNSやWEB上での広告運用も実施し、全国のビジネスユーザーに対して本事業に関する情報を展開。

プレスリリース配信一例



事業全体の周知

プレスリリース配信の一覧①

No.	タイトル	配信日
1	【スポーツ庁 x eiicon company】令和4年度スポーツ産業の成長促進事業 「スポーツオープンイノベーション推進事業(地域版SOIPの先進事例形成)」の運用業務を受託	令和4年6月13日
2	【スポーツ庁 x eiicon company】令和4年度スポーツ産業の成長促進事業 「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」地域パートナーの公募を開始します！	令和4年6月13日
3	【スポーツ庁 x eiicon company】令和4年度「地域版SOIP」、「北海道」「東海」「甲信越・北陸」エリアで 各地域スポーツチームとのアクセラレーションプログラムの開催が決定！	令和4年7月14日
4	【スポーツ庁 x eiicon company】甲信越・北陸エリア『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』採択企業3社を決定！	令和4年11月14日
5	【スポーツ庁 x eiicon company】北海道エリア『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』採択企業3社を決定！	令和4年11月18日
6	【スポーツ庁 x eiicon company】東海エリア『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022』採択企業4社を決定！	令和4年12月7日
7	【スポーツ庁 地域版SOIP 共創事例】エスポラーダ北海道×ユーロフィンQKEN 「スポーツ（フットサル）×食育（食を学ぶ）」実証イベントを開催。参加者（親子）募集を開始！	令和5年1月20日
8	【スポーツ庁 地域版SOIP 共創事例】信州ブレイブウォリアーズ×ウェルナス、 『選手・ブースター(ファン)への「AI食」情報提供で健幸を目指す』実証を開始！	令和5年1月20日

事業全体の周知

プレスリリース配信の一覧②

No.	タイトル	配信日
9	【スポーツ庁 地域版SOIP 共創事例】名古屋ダイヤモンドドルフィンズ×TR2、 『「謎解きロゲイニング」で都心の共創空間からまちづくりとファンづくり』の実証事業を開始！	令和5年1月27日
10	【スポーツ庁（地域版SOIP） × eiicon company】 『INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD 2022 DEMODAY』開催決定。参加者募集を開始	令和5年2月6日
11	【スポーツ庁 地域版SOIP 共創事例】北海道コンサドーレ札幌×コミュニン、クラブ・サポーター・企業・自治体の融合で地域の活性化を目指す 「北海道コンサドーレ札幌ファンコミュニティ（仮）」の実証を開始！	令和5年2月10日
12	【地域版SOIP 共創事例】ウルフドッグス名古屋・豊田合成記念体育館 ENTRIO×ダイスコネクティング、 『「ウルドわいわいPARKオンライン」によるファン拡大』の実証事業を開始！	令和5年2月16日
13	【スポーツ庁 地域版SOIP 共創事例】ヴォレアス北海道×playground、“推し活”によるファンとの新たな共創へ。 「ファンダム証明書コレクション“DIG!VOREAS”」の実証を開始！	令和5年2月22日
14	【スポーツ庁（地域版SOIP） × eiicon company】「スポーツチーム×他産業」との共創でビジネス創出を目指す10のプロジェクトが、実証の成果を発表しました。	令和5年3月2日
15	【地域版SOIP 共創事例】松本山雅FC × DATAFLUCT、「サポーターのエコな行動によるCO2削減量可視化」の実証事業『松本山雅FC ゼロカーボンチャレンジ』を開始！	令和5年3月2日

事業全体の周知

■ 地域パートナーからの告知

再委託先の各社からも各種プロモーション・周知の活動を実施。それぞれの地域に密着したPRも展開することで、各地域内での本事業や各共創プロジェクトの認知拡大や参画者の獲得を実現。

■ 北海道エリア

エリア	プロモーション内容
北海道	・ SPOPLA北海道会員（約1,800名）向けメール配信（計7回：9/13、9/22、9/29、10/4、10/7、10/17、10/20） ・ SPOPLA北海道ポータルサイトでの掲載（9/22～） ・ SPOPLA北海道Facebookでの掲載、及びFacebook有料広告でのリーチ（9/27～） ・ 北海道経済産業局HP上での掲載（9/26～） ・ さっぽろ産業ポータル（WEBサイト）での掲載（9/26～） ・ 北海道新聞での掲載（10/7紙面、10/7電子版） ・ 札幌商工会議所会員へのメール案内（10/10） ・ 北洋ビジネスクラブ会員（約1,400社）へのメール案内（10/10） ・ その他、個別企業へのアプローチ

事業全体の周知

■ 地域パートナーからの告知

再委託先の各社からも各種プロモーション・周知の活動を実施。それぞれの地域に密着したPRも展開することで、各地域内での本事業や各共創プロジェクトの認知拡大や参画者の獲得を実現。

■ 甲信越・北陸エリア

エリア	プロモーション内容
甲信越・北陸	・ NICOLLAP 会員対象メーリングリスト(長野県内外の企業・団体) 47 通 ・ NICOLLAP ホームページ掲出 ・ 機関紙「ビオトープ」広告出稿(長野県・首都圏) 20,000 部 無料配布 ・ 長野県経営者協会 全会員へ案内書面を郵送 630 通 ・ 長野県経営者協会 ホームページ掲出 ・ スポーツビズ メーリングリスト「スポーツビズプレス」 28,000 通 ・ 信濃毎日新聞の紙面でのご紹介



機関紙「ビオトープ」広告出稿



スポーツビズ メーリングリスト



信濃毎日新聞の紙面

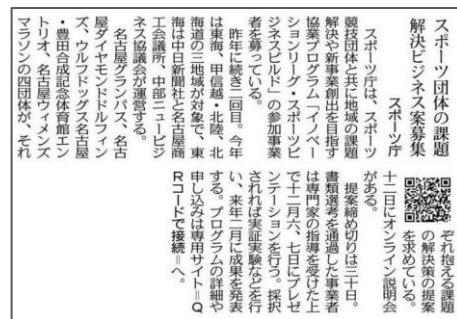
事業全体の周知

■ 地域パートナーからの告知

再委託先の各社からも各種プロモーション・周知の活動を実施。それぞれの地域に密着したPRも展開することで、各地域内での本事業や各共創プロジェクトの認知拡大や参画者の獲得を実現。

■ 東海エリア

エリア	プロモーション内容
東海	・ 中日新聞 10月8日(土)付朝刊・地域経済面（中部7県、約200万部） ・ ツイッターアカウント「中日新聞 東京新聞 広告局」(@np_ad_)ツイート（10月8日投稿、1,053インプレッション） ・ 中部マーケティング協会「Chu-Ma！PRタイム」10月18日(火)プレゼン（アーカイブ含め約100人視聴） ・ 名古屋商工会議所メールマガジン[名商モノメルマガ]10月11日(火)配信 ・ 中部ニュービジネス協議会 会員企業151社への案内 ・ PRE-STATION Ai、なごのキャンパスより入居者向けの案内 ・ PR紙発行（3800部）



中日新聞朝刊（経済面）
2022年10月8日付



ツイッター投稿



PR紙（イメージ）

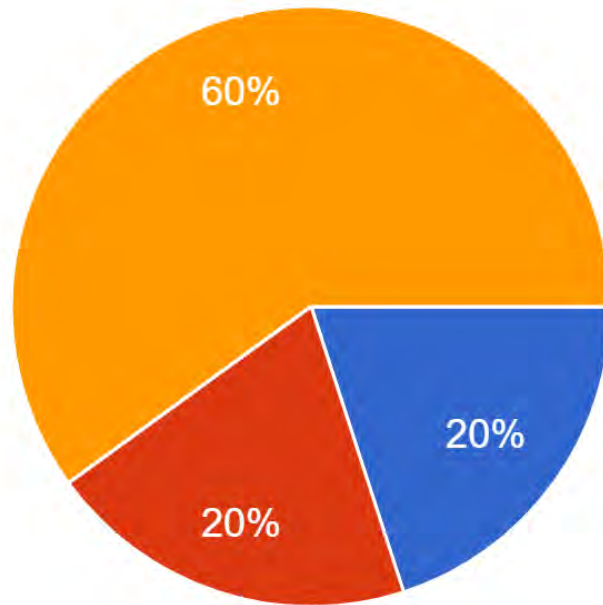
ホストスポーツチーム・団体 アンケート結果

本事業にホストとして参画したスポーツチーム・団体の皆様に
事業全体を通じてのアンケートを実施

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q1.本事業に参画する前の、自社の新規事業創出のお取り組み状況として、最も近いもの



- 新規事業開発に既に取り組んでいて、成果も出ている
- 新規事業開発に既に取り組んでいるが、なかなか成果が出ていない
- 新規事業開発に既に取り組もうと検討しているが、なかなか実施に至らない
- 新規事業開発に取り組む必要性は感じているが、何から手を付けていいのかわからない
- 新規事業開発の必要性についてあまりイメージが湧いていない
- 新規事業開発の必要性がないと感じている

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q2.本事業に参画した理由や決め手、期待していた点

前回の実績を見て、自クラブでも取り組める可能性があるのではと思った。新規事業のきっかけになることを期待した。

情報収集と共創に対する新規アイデアへの期待、関わる方の熱量

スタートアップの方と出会い、自社の抱えるビジネス課題に協業で取り組めることが出来ればという期待があった。

スキー・スノーボードレッスンにおける付加価値サービスの創造

我々がまだ発見したことのないアイデアや新しい視点を求めて。

更に新規事業に取り組むべく、共同で実施できる企業を探すため

エスポラーダ北海道、フットサルの普及に繋がると思ったため

取り組み中だったサービスのローンチ加速

提案者が代表の知り合いだったため

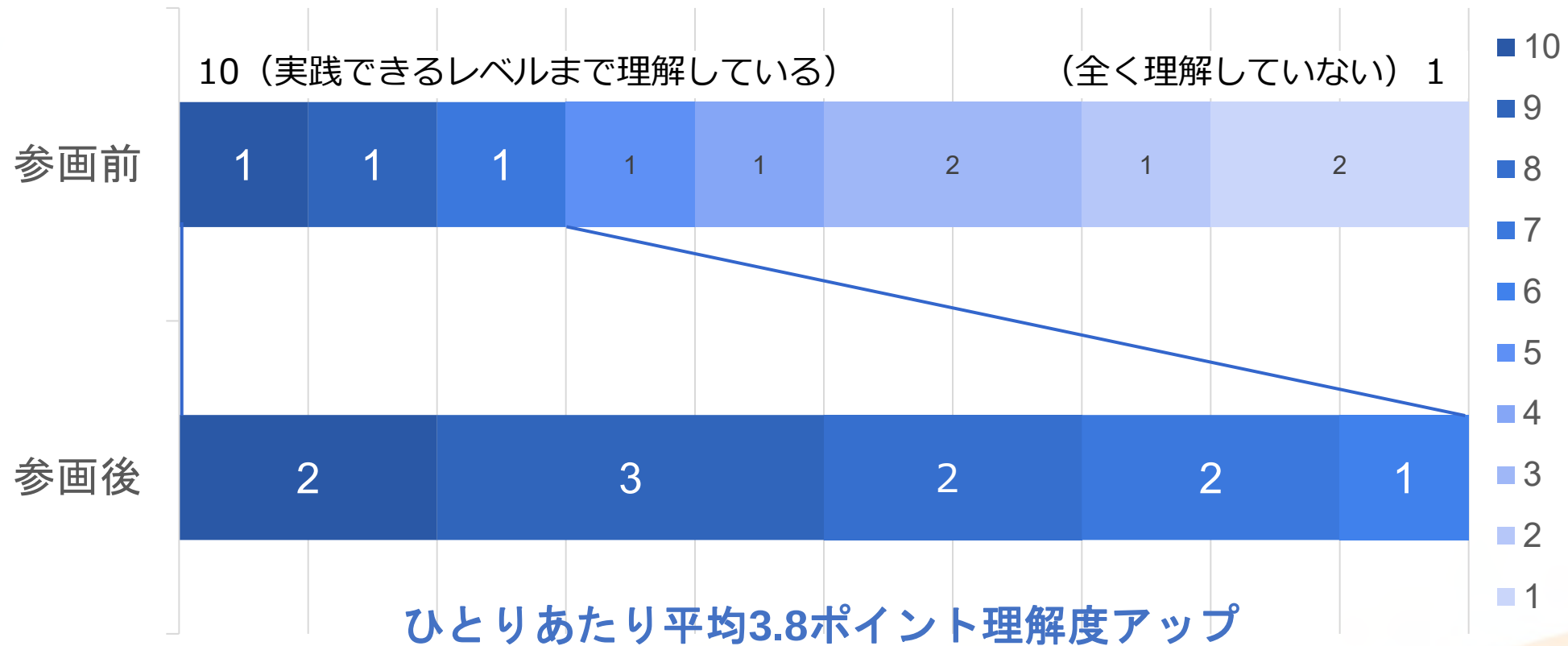
地域パートナー、関係者の熱量と恩返し

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q3.本事業に参画する前後のオープンイノベーションに対する理解度の変化

※「実践できるレベルまで理解している」を10、「言葉や概念を全く理解していない」を1とした10段階評価



ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q4.テーマ策定の満足度（募集テーマの設定 / 事業課題の深掘り / 強み・弱みの言語化 / リソース整理） ※5を「大変満足」、1を「不満」とした場合

満足度	右記満足度を選択した理由 ※任意記入
5	自社のSWOT分析等を踏まえた事業課題の解法のひとつに協業で取り組める道筋が見えてきたため。
5	自社課題に合わせたテーマ設定ができたため
5	—
4	パートナー企業にチーム側の事情（地域活性化文脈）をインプットできたのは良かった
4	自クラブの強みをより強固にしていけるテーマだったので
4	まだ途上の段階で成果が表れるのはまだ先のため
4	—
3	他事業とのすみ分けを事前にもっと精査しておけばよかったと思っているため
3	結果がすぐには出ないテーマだったため
2	本質的な課題は一般的にまだ顕在化していない方に対する課題であるため、無理にわかりやすい課題設定としたため

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q5.パートナー企業選定の満足度（書類選考・BUSINESS BUILD）

※5を「大変満足」、1を「不満」とした場合

満足度	右記満足度を選択した理由 ※任意記述
5	前向きでとても真剣に取り組んでくれる若者と目標に向かっていいチームになれたこと
5	どちらも熱量が高かった
5	協業する企業トップの方を筆頭に皆さんが弊社の現状を理解され、事業課題を認識いただいた上で一緒に解決していく手段を共に創り上げていこうとするPassionを感じるため。
5	真摯にウィメンズマラソンと向き合ってくれた
5	想定以上の応募があり、連携可能性がある企業が見つかったため
5	先見性、ビジネスのクオリティ
4	採択企業に関しては熱量、技量ともに満点だが、満足度同様、取り組みの座組をしっかりとってから取り組みればもっと効果的に進められたと感じているため。
3	初日のプレゼンの印象が悪かったため
2	書類選考が非常に難しいと感じた。可能であれば、書類選考で2社を選ぶのではなく、オンラインでのプレゼンを聞ける2次選考があれば、と思った。
2	課題設定かりややずれがあるため本質的ではなかった。ただ設定した課題においては一社当てはまったことは良かった

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q6.インキュベーションの満足度（実証・社会実装に向けた活動）

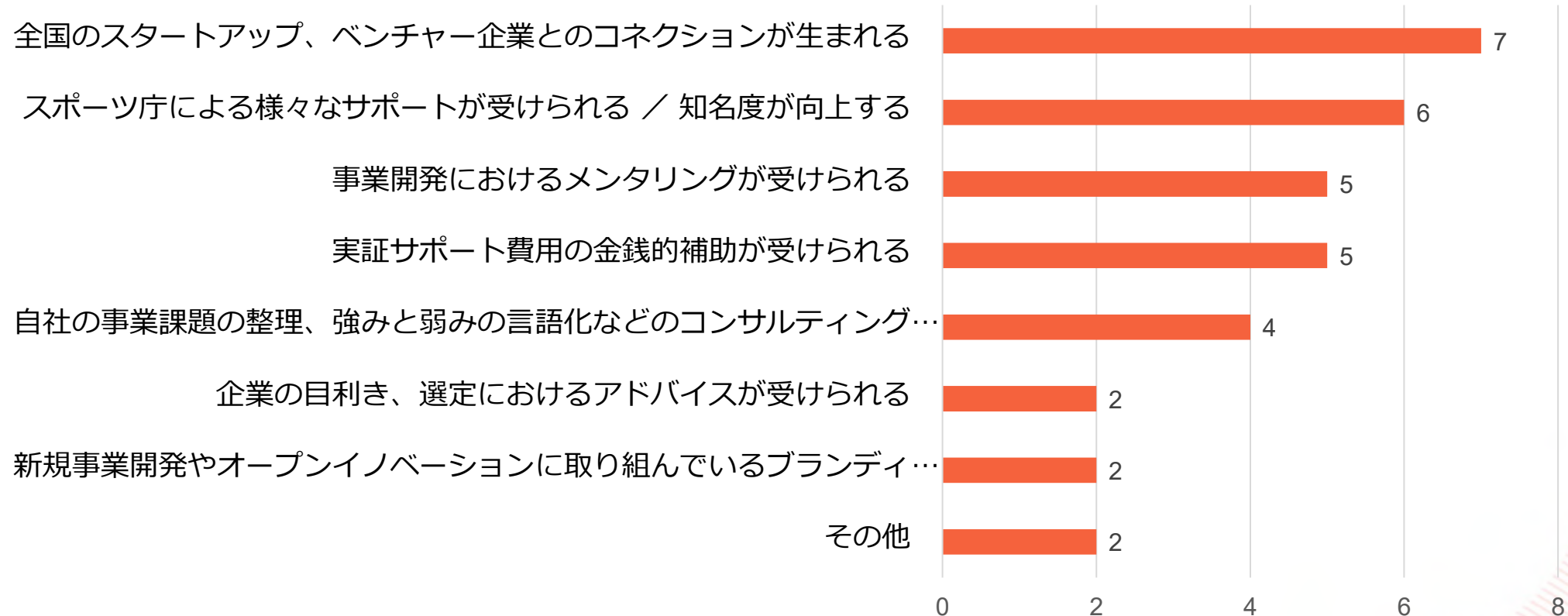
※5を「大変満足」、1を「不満」とした場合

満足度	右記満足度を選択した理由 ※任意記述
5	タフだったが、しっかりと着地させられた
5	案件を獲得できるとともに、継続性が感じているため
5	ご一緒した企業に非常に頑張ってもらえたので。
4	上記と同様の理由。共創をうまく活用して自社事業に繋げていきたい。
4	現場では楽しんでもらえたがスクールの体験会に来た子は多くなかったため
4	大会直前ということもあり、こちら側の対応が遅くなり、迷惑をかけてしまった。
4	—
3	実行案には道筋が見えたが、費用対効果（実際の集客、チーム認知度の各層への広がりが見られるかなど）を含めた実務実証はこれから来シーズンにかけて実践していくため。
3	実証するのに難しかったため
2	年度で区切る必要があるため実行優先となり、事業者さん含めて本質的な事業共創になりがたかったと思う

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

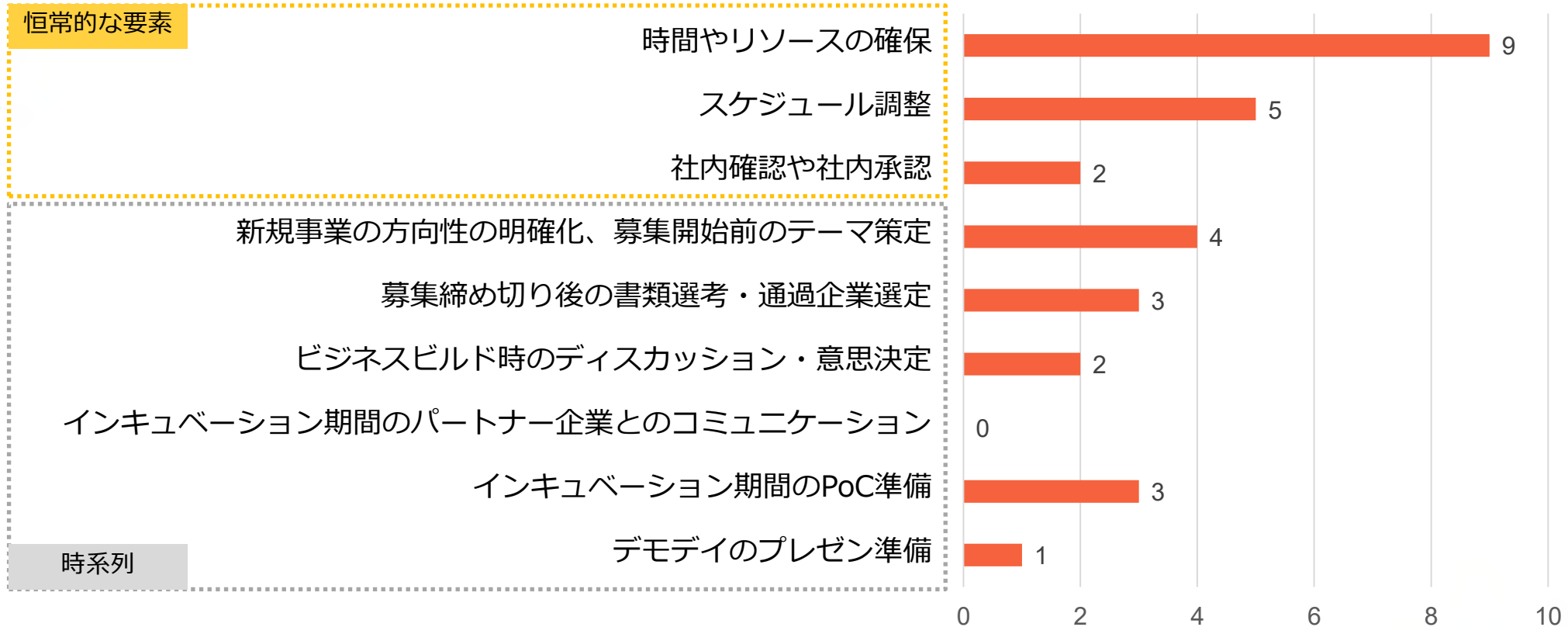
Q7.本事業に参画してみて良かった点 ※複数選択可



ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q8.本事業に参画してみて苦労した・難しかった点 ※複数選択可



ホスト向けアンケート結果

回答数：7件

Q9.今回生まれたプロジェクトが継続的に発展していくために、インキュベーション内や事業終了後に あると嬉しい・必要な支援 ※任意記述

実装期間が短く、PoCまでの期間をもう少し長くとか、1年の単位で一緒にランディングしてもらえると尚良いプログラムを作れると感じました。

PoCまでの時間が足りない。（スポーツチームのシーズンとこのプロジェクト実施時期の関係性を検証して、実施時期、期間を設定されることが望ましい。）

定期的な全体ミーティング

事業継続のための補助金制度

継続的な金銭的なサポート

一定条件下での追加支援枠

一回のPoCで終了ではそのまま自走は事業者にとって難しいと思う。次年度もPoC予算が一定設けられるなど、年度跨ぎが難しいことは承知なものの、スポーツ庁がオープンイノベーションにおいて民間側の時間軸に寄り添わないとイノベーションは起こらず、イベントで終わります。※終わりました→事業者さんの事業フィールドは拡大されたと思いますが必ずしも当社との連携必須のモデルにはなっていない。なりきるには単発PoCでは無理

ホスト向けアンケート結果

回答数：10件

Q10.今後の新規事業創出やオープンイノベーションに対する考え

今後も新規事業創出に積極的にチャレンジしていきたい

地域の課題解決につながる新規事業創出に積極的に取り組みたい

クラブとして新規事業に積極的に取り組んでいく方向

今後も新規事業創出に積極的にチャレンジしていきたい

地域課題が何かと、それに対して何が出来るかを検討して取り組んでいきたいと考えています。他チームの事例も見ながら、続けるのか、違うテーマで実施するのか、検討していきたいと思います。

もちろん前向き

テーマを変えて、チャレンジしてみたい気持ちはある

大会の課題を見直す良い機会となった。毎年同じ取り組みではなく、ランナーが飽きないような新規の取り組みをこれからも考えていきたい

まずは今回の共創を成功させたい。

補助金目当てにしかありません。単年度で事業創造は無理です。

ホスト向けアンケート結果

回答数：5件

Q11.その他本事業全般や、運営事務局（eiicon）に対するご意見・ご要望 ※任意記述

皆さんの熱量に圧倒され、感化された良い経験でした。本当にありがとうございました。

様々な分野でのオープンイノベーションを継続して行ってほしい。

色々サポートいただき、誠にありがとうございます。ご調整・サポートで難しいことが多分にあったかと思いますが、このような企画を遂行できたのも偏に皆さまのお力添えがあったからだと強く感じております。重ね重ねありがとうございます。

- ・ 上述のとおり、スポーツチームのシーズンとこのプロジェクト実施時期の関係性を検証して、実施時期、期間を設定されることが望ましい。
- ・ 地域パートナーの中日新聞倉内様には本当に熱心にサポート、フォローいただけたことに感謝申し上げます。また、事務局の方には大変適切でタイムリーなご示唆とプロジェクト進行を仕切っていただけた調整と集約能力の素晴らしさに脱帽です。本当にありがとうございました。

スポーツ庁に向き合いすぎて本質的なイノベーション支援にはなりきれていない印象。しかしそれはそもそも単年度で区切る時間軸とスポーツ庁の姿勢が問題

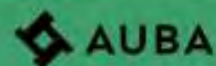
Appendix

(APPENDIX) eiicon companyについて

日本最大級のオープンイノベーションプラットフォームと、オープンイノベーションに特化した
ハンズオンコンサルティングで、企業の事業フェーズに合わせたOIの支援にて事業化をサポートします。

圧倒的なDB

日本最大級OI
プラットフォーム



OI特化の伴走支援

OIプロフェッショナルによる
伴走支援



累計共創実績

1,500社+

(APPENDIX) 地域パートナーについて

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

Q1RI 株式会社
北海道二十一世紀総合研究所

SPOPLA
HOKKAIDO

経済産業省
北海道経済産業局

HOKKAIDO

KOSHINETSU-HOKURIKU

NICOLLAP

スポーツをカタチに。
SPORTS
BIZ GOVERNMENT

一般社団法人
長野県経営者協会
Nagano Employers' Association

中日新聞社

名古屋商工会議所
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

CNB
中部ニュービジネス協議会

TOKAI

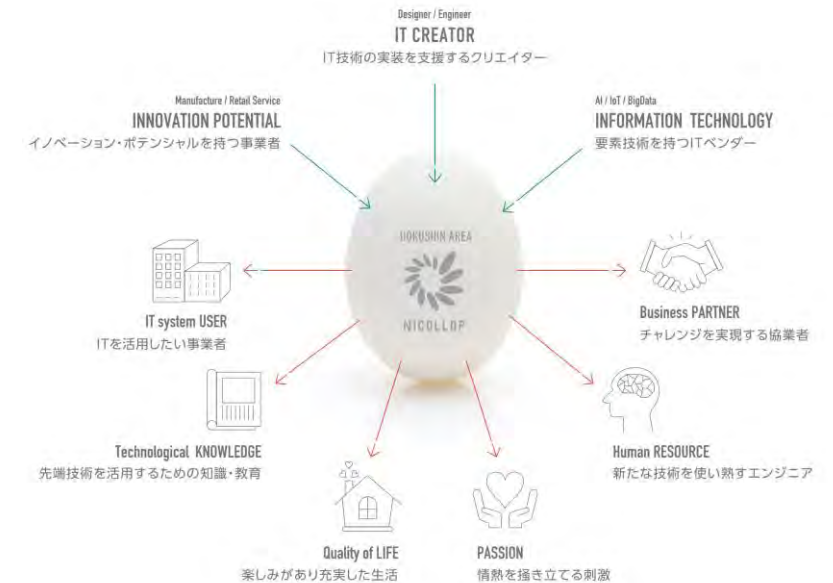
SPOPLA HOKKAIDO

設立	2019年3月（北海道経済産業局により設立）
事務局	株式会社北海道二十一世紀総合研究所
活動目的	『スポーツ』×αによる新産業創出・拡大
事業内容	様々なニーズに応えるシンクタンクとして、政策研究に携わる多彩なスペシャリスト集団を擁しています。 行政や民間企業が抱える課題の本質を数値的に把握し、解決策や対策を研究して提言し、その推進にも関わっています。
会員数	834団体、1,783名
主な運営実績	昨年度「INNOVATION LEAGUE SPORTS BUSINESS BUILD HOKKAIDO」運営 https://eiicon.net/about/innovation-league-sportsbb2021-hokkaido/ SPOPLA北海道ビジネスミーティングなど



NICOLLAP

設立	2019年5月24日（シソーラス株式会社内）
事務局	一般社団法人長野ITコラボレーションプラットフォーム
活動目的	長野市を中心とした北信地区をITを活用した新規事業にチャレンジする事業者とその支援者が集まる魅力ある地域にし、新しい産業を生み出す
事業内容	信州ITバレー構想の実現に向けた戦略の企画・提言・運営、先端技術を活用した新規事業立ち上げのコンサルティング、先端技術を活用した新規事業着想の為の実証実験、産官学民が連携して必要なプロジェクト、コンソーシアムを組成する事業 など
会員数	会員企業42社（+長野県経営者協会の県内会員企業630社）
主な運営実績	「NAGANO-OIC2021」運営 https://nagano-oic.jp/ など



中日新聞社／名古屋商工会議所 中部ニュービジネス協議会

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022

中日新聞社

 名古屋商工会議所
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

 中部ニュービジネス協議会

設立	1886年	1881年	1989年
事務局	株式会社中日新聞社	名古屋商工会議所	中部ニュービジネス協議会
活動目的	2024年秋のステーションAi開業、2026年秋のアジア大会開催を産業創出の大きな機会にできれば、当地区においてスポーツは「ものづくり」と同列に近い強みになる。その実現から逆算して、2022年度を地域一丸となつてのSOIP構築元年とし、個々に行うピッチイベントでは出せないシナジ一効果を地元経済界・スポーツ団体・生活者に創出する。		
事業内容	日刊新聞（中日新聞、東京新聞、北陸中日新聞、日刊県民福井、中日スポーツ、東京中日スポーツ）・書籍の発行、各種事業、中日文化センターの運営など	地域最大の経済団体として17,000社を超える会員企業を有し、中小企業のビジネス支援、地域活性化事業、産業振興にかかわる様々な取り組みを推進しています。日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ」のほか、廃校を利用したインキュベーション施設「なごのキャンパス」の運営など共創を生み出しています。	ニュービジネスの育成と振興を目指すとともに、地域経済・社会の発展に先進的な役割を果たすことを目的として1989年に誕生。スタートアップピッチは名古屋グランパスで2018年以來3度の主催に加え、2019年にはBリーグ愛知県4チーム、2021年には中部国際空港でも実施しました。
会員数	中部7県に200万部超を発行	17,227社	151社
主な運営実績	「中日ドラゴンズ・スタートアップピッチ」運営 https://dragons.jp/news/2022/22031701.php など	「なごのキャンパス」運営 https://nagono-campus.jp/ など	名古屋グランパス × スタートアップピッチ 2021 in メッセナゴヤ運営（名古屋商工会議所との共催） https://nagoya-grampus.jp/news/pressrelease/2021/0910-2021-in.php など

INNOVATION LEAGUE **SPORTS BUSINESS BUILD 2022**

【本件に関する問い合わせ先】

パーソルイノベーション株式会社 eiicon company

令和4年度 地域版SOIP運営事務局 (local-SOIP@eiicon.net)

本報告書は、令和4年度スポーツ庁委託事業として、パーソルイノベーション株式会社（eiicon company）が実施したスポーツ産業の成長促進事業「スポーツオープンイノベーション推進事業（地域版SOIPの先進事例形成）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022
スポーツとあらゆる産業の共創で、ビジネス創出を目指すプログラム

— 2ndステージ開幕! —
スポーツの力で地域の可能性を拡げる。

プログラム説明会 ENTRY

CONCEPT | MERIT | SCHEDULE | ORGANIZE | ENTRY

CONCEPT
コンセプト

「スポーツは未来産業だ。」

スポーツを核とした地域活性化を目指すべく、昨年より発足し、今年2年目に突入する「SPORTS BUSINESS BUILD」。

日本の地域に点在する、少子高齢化や人口減少、交通インフラなどの課題は、スポーツが持つ可能性と掛け合わせることで、解決され、未来創造の種となる。

1年目では、地域に根ざした11のスポーツチーム×全国から集まった企業との共創により、バーチャル、教育、観光、モビリティなど、様々な領域で全12のプロジェクトが生まれ、スポーツ産業の新たな可能性を提示した。

昨年発表した「スポーツを核とした地域活性化」を継ぎ、全国に波及させるため、今年は「北海道」「中部圏・北陸」「東海」の3エリアが中心。地域を支える地域企業と、経験豊富なメンターの協力により、スポーツ×地域産業による新たなビジネスの社会実装を目指す。

地域から日本全国へ、スポーツビジネスに夢を託す。

INNOVATION LEAGUE
SPORTS BUSINESS BUILD 2022 TOKAI
「SOIPの可能性を拡げるのは私たちが」 共創先進エリア東海の挑戦

【2年目の開催となるサッカー、バレーボール・狙いをキーマンたに聞く】

【地域版SOIPに迫る＜東海編＞】2026年アジア大会を控える「東海」からはサッカー・バスケットボール・バレーボール・マラソンの4競技が参戦! 共創に取り組む背景・狙いをキーマンたちに聞く

参加者募集 エントリー

2022年10/21(日) 2022年10/30(日)

「SOIPの可能性を拡げるのは私たちが」 共創先進エリア東海の挑戦

中田新太郎 名古屋ダイヤモンドフォックス 名古屋ウィメンズマラソン

2022年10/21(日) 2022年10/30(日)

「SOIPの可能性を拡げるのは私たちが」 共創先進エリア東海の挑戦

「2022年を、東海エリアの「SOIP構築元年」に」—中田新太郎

「世代を超えて地域一人ひとりと繋がり、グラブパスに出来ない用づくりを」—名古屋ダイヤモンドフォックス

「動心(心動)空間からまちづくりファシリテーター」—名古屋ダイヤモンドフォックス

「競技施設アリーナを活用したファンの拡大」—ウルフドッグス名古屋、豊田合成株式会社、豊田エントリオ

「世界最大の女子マラソン、新たなエンゲージメント拡大」—名古屋ウィメンズマラソン

取材後記